第二百六十七號

NAMBEI SHIMPO

1 de JANEIRO de 1940

週刊南米

NOTICIAS DA GUERRA EUROPÉA E SINO-JAPONESA

サンパウロ市ビスレーダ
地番八三八
南米新報社
發行所
料金 年一 三二
料金 段一 七〇

本紙の特色
ニュースの週間綜合編輯

カンバルカンと心野の蘇聯

ローマよりの報によればバルカンに對するソ聯の野心が愈々露骨となりつゝあるに鑑みイタリー政府はソ聯勢力南下を阻止すると共にバルカンの平和維持のため目下全力を擧げてブダペスト、ソフキア、アテネ、ブカレスト、ベルグレード等の各首都に於て頻りに外交工作を行つてゐると傳へられる。

イタリーは先づ第一段としてユーゴスラビアとの提携、第二段としてこれにブルガリアを加へ更らにルーマニアに及ぼすといふ方策を講究してゐるとの觀測が有力である。ソ聯のブルガリア懷柔策は內面的に相當進行してゐる模樣でイタリーは之を最も重視し過般ソ聯軍がポーランドに侵入したと同樣の急變が起る可能性があるので、イタリーは万一に備へるためバルカンの前進基地たるアルバニアに於ける實力を增强しつゝあり、苟もバルカンに異變が發生し戰禍が及ぶ時は實力により事態を收拾せんとの決意を有するものと信ぜられる。一方イタリー各紙のコミンテルン攻擊は連續的に行はれてゐるが各紙の記事を綜合するに

(一) ソ聯は全世界革命誘發のための戰爭挑發思想の政策を中止せず、日支事變及び英佛對獨逸の戰爭を永續せしめんと全力を盡してゐる。

(二) バルカン攪覽に齒牙を磨きつゝあり。

(三) 帝國主義的侵略政策の本性を曝露した。

(四) ドイツとの關係も甚だ不徹底である。

等を指摘してイタリーとしては

(一) ドイツはソ聯と提携してゐるが、イタリーは獨自の立場より防共政策を堅持する。

(二) イタリーはソ聯政府のコミンテルンの政策遂行を危險なりとの再確認した。

尙十二月廿五日ソフィア發情報によれば、トルコはソ聯の南進に備へて目下全力をあげて對ソ防衛施設の充實に努力してゐると傳へられてゐる、即ちコーカサス國境方面は一千乃至二千米の山岳地で攻め難く守り易い態勢だがトルコはこの地方を三段の防衛線に分ち、その中心をエルズルムに置いてこゝに最近フランスから着いた要塞砲四十數門を配置し、更に從來地中海方面に備へてゐたチヤタルジヤ要塞の備砲を移動した、又英國から供給された大口徑要塞砲六門は黑海と直接つながるボスフオラス海峽守備のために配置すること、し、ソ聯の上陸作戰に備へてゐる。目下トルコは頻りに未教育老年兵を教育召集してゐるが、これらは悉くトルコがソ聯の南進可能性について差迫つた不安を感じてゐる証據だと見られてゐる。

廣東とアモイを觀る

(在東京田中善立)

吾人は一昨年十月より廣東と海南島を攻擊占領すべしと絶叫したが當時近衛內閣は幾度も日支事變の不擴大を天下に聲明したが、這は絶對に不可能なるを確信し今回事變の原動力たる英佛を反省せしめねばならぬ。

夫れが爲めには其の咽喉的要衝たる廣東と海南島を占領するが最も急緊策なりと信じて公論に訴へたが、政府當局は一向之を顧みず、軍部の熱誠なる主張に依りて、漸く昨秋から今春にかけて廣東と海南島を攻略された事は、洵に慶賀至極に堪へない。過日南方產業調査會を代表して、山田毅一佐藤永作の兩君と皇軍慰問に出掛け、八月三日以來一週間廣東にある皇軍の慰問を為し、兼ねて其の地方の視察をゆつくり爲し得たこと

家屋は木造の一、二階にして臭氣甚だしく、犬の皮を剝ぎたるもの店頭に幾匹もつり下げられ、甕や桶の中には蛇や蛙が多量に動きつゝありて一見氣味惡く、迚も正視する事が出來なかつた。然るに今や街路は七、八間幅となり其の兩側には一間半乃至二間位の人道あり整然とし、何れも綺麗に舗裝され、家屋は二、三階或は三、四階の洋風煉瓦造りに白化粧し、一等街路には七、八階の建築すらあり、我が東京にも丸ノ內以外には稀に見る如き店構へである。珠江河岸に毅然として聳ゆる愛群ホテル魯迅料亭は十四階であつて、我が國には之に比すべきものがない。

○

市區改正は今より十五六年前に完成されたが之が實現方法亦甚だ奇拔である。即ち市政府の命令一下決して之に背反するを許さず、移轉料は極貧者以外の者には毫厘も支給されず、又公路開造には賠償金のみならず、勞働をも奉仕せねばならぬ。因りて以て忽ち面目を一新する次第である。這はたゞ酷であるけれど、我が國の改正法は余り私有權重に過ぎ居るやうに思はれる。

謹賀新年

皇紀二六〇〇年元旦

南米新報社同人

烏兎草々、いままた新たなる歲を迎へた。而して一陽來復の春とは言へ恰も盛暑の候、茫漠たる高原の珈琲樹蔭に涼を追ふて迎ふる元朝には懷しい祖國の傳統的新年風景こそ無けれども、ブラジルはブラジルながらに矢張りこゝにも萬里回風、更生のよろこびは訪れて來たのだ。

二千六百年の初頭に立ち、まこと光輝ある皇紀まる我等日本人は福ひなるかなである。

古人謂はずや一日の計は晨にあり、一年の計は元旦にありと、只今興亞の大業完成の爲めには擧國一致・萬難を排し、雄々しく戰ひつゝある我が祖國日本の諸相を想倒する時、轉た感謝感激の情に堪へざるものがある、我等はこの感銘を以つて清新發溌たる希望の第一歩に勇躍しやう。

謹みで皇紀二千六百年の正旦を慶賀す。

今週話題 よもやま

獨佛國境を固める
マヂノー築城解剖 (1)

△

マヂノー要塞はフランス軍の手によりて構築され、鐵條網は實に二千〇五十萬米突平方に及び、此の重量は六万五千トン、又マヂノ要塞築造の爲め戰爭勃發以來掘り取りたる土は五百八十五万米突立方に達し、セメント使用高九十一万米突立方に上り、その障壁の厚さ三米突高さ三米、全長四百五十哩に及ぶ、而して之れが强化のために使用せる鉄及び鋼鐵は二億五千万ポンドと稱せらる、左は陸軍省整備局交通課長工兵大佐鎌田錦一氏の築城解剖意見である。

△

永久築城は最も强固な築城方式で平時から多くの勞力と資材とを以つて最も進歩せる科學を應用し、幾多の年月を經過しても廢頽せぬやうに土地に加工して、その戰術的、戰略的價値を昂上し、以つて、有事の際は軍の作戰を容易ならしむるものである。

永久築城の施設と、國防の方針とは緊密なる關聯を有するものであるが、其の形体は各國の情勢によりその趣きを夫れぞれ異にして居る、獨佛の如く相ひ隣接する國に於いては、假令强大なる兵力を擁しても、その作戰根據地を確保し、動員集中を掩護し、國土資源を防護し、かつ攻守作戰を容易ならしむるため、要塞の必要を生ずるのである。

またこの施設によつて戰爭を未然に防止し、あるひは之を遲延せしむることもあるが、近時戰爭形態が變化しかつ著るしく兵力及び戰場を擴大した爲めます〳〵國土の防衛を重視するに致つたので、比較的長大な國境を有する國に於いては、單に戰略上要度の大なる獨立点にのみ築城を施すの主義をやめて、國防上是非共、占領しおくを緊要とする方面の擴大なる地域にわたる國境に永久築城による地帶の建設を必要とするに至つた、佛のマジノー・ライン獨のジグフリード・ラインの如きはこれである。

△

さて歐洲には、第二次大戰が勃發して、ふたゝび獨佛國境築城が問題となつて居る、果して此等の正体は如何なるものであらうか、昭和五年十月佛國新聞マタンにより築城中の佛國々境新要塞の概況が報道せられ次いで同十二月ドイツ新聞ベルリーナ・ターゲブラット紙上に、半ば嫉視的に同記事が掲載せらる、や、世界築城家の視聽が翕然として之れに注がれたのであることに昭和十年頃佛國の新聞が、ライン國境に於ける築城工事が完成して、守備兵を配置した、また昭和十三年九月十二日ヒットラー總統は、ドイツ國會の閉會演說で無敵のドイツ軍備を讃歌して全黨員に多大の感銘をあたへたのであるが、この演說で初めて此の年の春以來極秘裡に行はれて來た西部國境要塞工事の全貌が浮び出でたやうに思はれたのである。

△

凡そ個人間の紛爭に於ける自衛は、襲擊に對し其の所有物の障碍物を庇護下におくのを第一義とする、從つて太古未開人は防衛のため近接困難な洞窟に居住し木石、荊棘を用ひて、單に個人的防護の方法を講じたのである、其の後、人智の進むに從つて、民族及び利害關係を異にする同族間の鬪爭が激甚となるや、彼の封建諸侯はあるひは天嶮を利用し、あるひは杭、鹿砦堆土等の人工的手段をもちひて民族財寶を防護し城砦を築くにいたつた。

△

その後時代の進歩と共に民家集團して社會を組織し、さらに都市となるや、强大なる隣敵に對しこれを防護するため、集團築城の必要を生じ、遂に堅固なる圍壁を工夫し、こゝに始めて永久的性質を有する築城を創設したのである、連續せる万里長城は、更らに新らしき年代に出現したものであるが、當時攻擊軍が所謂烏合の衆なりしため、實質よりも、むしろ外見的防衛と云ふべきである、その後幾多の變遷を經て築城も躍進し、ナポレオン時代には戰爭の体驗に基き、大市府を中心とする帶堡要塞の採用を見て、之れが野戰軍のため作戰の根據地たるに至つた。

事變前よりも安全な生活

市民は感謝す

事變前には百三十余万あり人口も、昨年十月二十二日皇軍の占領した當時には僅か六、七万となつたが其の後漸次歸來して八月には七十万となり、今や百余万に達した。敗殘兵に燒却された二千余の家屋は煉瓦壁のみ殘りて憐れ廢虛となれるが、他は我が嚴肅なる監督下に掃除行屆き、市民皆嬉々として働き、自治委員會も復興に熱中し、戰後の都市とは思はれない程である。只夜十時過ぎは時々出沒する共產匪賊の防衛上通行を禁止する點が、聊か物騷に感ぜられる次第である。

○

當地方の酷熱季節は六七月頃であつて室內九十四五度の日も少くないが、每日俄雨沛然として來り涼風多き爲左程苦しくない。衛生は嚴重なる我が監督の下に充分行屆き、コレラ、チブス、ペストの疫病は殆ど無、唯マラリヤが若干の勢力を占ひるばかりである。支那名物の蠅と蚊が、嚴重なる清潔法の爲極少なかつたのは意外であつた。尤も蚊軍の一番多い季節は三四月頃である。

○

十二分の威力を發揮せる我が陸海軍諸機關は嚴然として市內要部を占據し、全仁至愛なる監視の下に支那自治委員會は肝膽相照し、孜々として復興に努力して居る。忠勇なる皇軍の大多數は市外要所にありて地方の安寧を確保し、市民は皆事變前よりも安全な生活に感謝して居る。殊に臺灣總督府より派遣されて居る救濟醫院隊は一般住民から非常に信賴され門前は市をなして居る。

○

市外約三里の丘上數十万坪に、宏壯なる洋風建築が併立するが中山大學である。一朝有事の際には防衛の任を果すべく要塞の設備さへあつて附近の黃浦港を掩護して居る。文科、法科、醫科、農科の綜合大學であつて、農科の附屬園は驚く勿れ三千万坪にして、園內客種果實の年收約百万圓である。敷地及び農園の大部分は寄附、創設費三千万圓の大半は廣東出身の南洋華僑の負擔であつた。

後悔先きに立たず
豪遊の軍團長

今春組織されたる日華佛教協會は、日本側は東本願寺松原將、西本願寺赤山智督、曹洞宗山口祐隆日蓮宗倉野行陣、國佐々木勝運の諸氏、支那側は大佛寺、六仙寺、華林寺、海憧寺の住持諸師である、其の主たる事業としては大佛寺、六仙寺、華林寺、海憧寺內に日語學校を開設し、每日午前或は午後四時間づゝ、日語を教授して居る、其の擔任教師は、六仙寺山口祐隆大佛寺西端洗心(西本願寺)華林寺石川恭然(日蓮宗)海憧寺佐々木勝運(日蓮宗)の諸師である、各寺共生徒は百二三十名、何れも老若男女混合で中々熱心である、所謂後悔先に立たず、今は十五六ケ師を以て廣東を距る北方二十里の地點を僅かに固めて居るのみである。

第一線の其部隊を慰問した際の話に、前線の彼我斥候兵は互に敵の假裝をして居るが、敵は全支各師團の混合兵より成れる故、彼我斥候は言語相通ぜず、敵と同士の見わけつゝずウロ〳〵して居る所を難なく我が敏捷なる斥候に拿捕される、滑稽劇を各所に演じ、以て我が無聊を慰めて居ると不覺破顏せざるを得なかつた。

昨年十月十二日皇軍がヴアイアス灣へ無血上陸せしは、偏に是れ陛下の御稜威と神助及び將卒の無敵忠勇に依れるものであるが、敵の油斷怠慢も亦預りて大なるものがあつた、當時敵は三個師團の兵力を以てヴアイアス方面を警備して居たが、ヨモヤアレ程迅速果敢なる襲來はあるまいと油斷し當時軍團長は香港に在りて豪遊して居たとの事である。

○

日蓮宗の寄僧倉野行陣師は年齡四十余、ヤセ身の小男なれど、全身是膽、久しく台灣に在りて土民布敎に從事し、數年前單身香港に渡りて御題目布敎をなし、書筏を分たざる大聲御題目に、歐米人が閉口抗議せるも更に介意せず布敎に活躍し居りしが、昨年、皇軍の巡來を攻略するや率先して入廣し、團扇太鼓を叩いて御題目を唱へ廻り今や相當

謹賀新年

上塚司

アマゾニア產業株式會社

告示

昭和十五年一月一日午前九時ヨリ仝拾時迄當館(アヴエニーダ・ブリガデイロ・ルイス・アントニオ街四八七番)ニ於テ御眞影拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和十四年十二月二十二日

在サンパウロ

帝國總領事館

告示

今般帝國政府ニ於テハ昭和十五年歲旦ニ當リ事變下ニ迎フル皇紀二千六百年ノ嚴肅ナル意義ヲ体得シ皇室ノ御聖德ヲ欽仰シ聖壽ノ無窮ヲ壽キ奉ルト共ニ愈々盡忠報國ノ精神ヲ昂メ皇運扶翼ノ實ヲ擧ケ東亞ノ建設ニ邁進スヘキ國民ノ覺悟ヲ神明ニ誓フノ趣旨ノモトニ奉祝ヲ行フコトニ決定セルニ付在留民モ左記要項ニ基キ奉祝方實施相成度シ

一、一月一日午前九時ヲ期シ『國民奉祝ノ時間ト定メ』各家庭其他ノ場所ニ於テ君々宮城遙拜並ニ萬歲奉唱ヲ行フコト

二、在留邦人ハ日本人會其他ノ團体等ヲ中心ニ各地ノ實情ニ應シ適當ノ時間ニ奉祝式又ハ祝賀式ヲ行フト共ニ本文趣旨ノ徹底ヲ圖ルコト

右告示ス

昭和十四年十二月二十二日

在サンパウロ

帝國總領事館

愛讀者並に廣告主

社告

各位

元弊社外務員にて廣告代或は購讀料と稱し其の代金を頂戴し乍ら、本社より發給せざる『受領書』を差上げたる者之有趣、右は全く弊社の關知せざる所に有之候につき、今後は如何なる場合又如何なる口實を以つてするも、本社所定(印刷しあり且つ南米新報のカリンボあり)の受領書を差出さゞる者には斷じて御支拂下さらぬ樣且つ御不審の場合は直接本社(電話七一一六一四)へお問合せ相成度此段謹告候也

南米新報社

謹賀新年

椎木文也

横濱正金銀行リオ支店

君塚慎

水上不二夫

サントス市

謹賀新年

間崎三二二一

プロミツソン

電話七一番

郵函一六番

學藝欄

純粹日本文學の精神

最高峰に立つ上代の人々

（十八）

芭蕉

世にふるは更に宗祇の宿りかな

旅を愛した芭蕉は、照りつける日光を防ぎ雨露に濡れるのを防いでくれた愛用の笠を修理して、その笠の中に宗祇の作に擬して、かう書きつけた。

まことに彼れは、先輩の生活を思ひ、更に遡つては西行の漂泊に、幾多の思ひを寄せてゐたのである、西行から宗祇へと受けつがれた旅の詩人は、更に芭蕉を得て新たなる生命の血脈が見出されたのである。

◇

旅人とわが名よばれん初時雨

彼れは、俳諧の創始者である、俳諧の歴史は、もとより彼以前にもあつた、併し、俳諧に眞の藝術としての生命を吹込んだのは、實に芭蕉その人であつた、俳諧は彼によつて、詩としての鑑賞に堪へ、批判に堪へるのに完成せられたのである。

◇

俳諧は連歌から發展して來たのである、連歌の墮落を救はうとして起つたのが俳諧である、さうして宗祇は連歌の中興の祖であつたとすれば芭蕉が眞の俳諧の祖と見なされる時、藝術に對する熱烈なる氣負が、此の時代を異にして出でた二人の詩人の間に、流れてゐる點に於いて、共通するものがあるのは當然である、さうして彼が詩人西行に對するよりもむしろ同じ句の道の祖として、宗祇の方により多く親しみの情を感じてゐたであらう事も亦、考へられるのである、さういふ意味でも宗祇の血統は、彼れによつて正しく受け繼がれてゐた事を知るのである。

◇

芭蕉の身體は強かつたらしい、健康な身體を持つものでさへも、旅は苦しいものである、それを、病弱な彼が『そぐろ神の物につきて心を狂はせ、道祖神の招きにあひて、取るもの手につかず』旅へと憧憬の情を寄せるものは、肉體の苦痛を越えて、自然の靈の偉大な包容の中に、聖なる喜びがあつたからである。

◇

それ故、奥の細道の大旅行に出かけた彼は『長途の苦しみ身心疲れ』る一方、『且は風景に魂奪はれ、懐舊に腸を斷つて』ゐるのである、さうして、遂には『持病さへ起りて消え入るばかり』の身で『遙なる行く末をかゝえて』かゝる病覺束なし」と思ひながらも『道路に死なん是天の命なり』と觀じる時には『氣力聊か取り直し、路縱横に踏んで伊達の大木戸を越す』芭蕉であつた、此の精神力あるが故に、芭蕉は病に勝つて、旅を續け、七ヶ月にわたる大旅行を終つて、更に『旅の物憂さもいまだやまざるに』伊勢大神宮の遷宮を拜まうとて、

蛤のふたみに別れ行く秋ぞ

の句を殘し、伊勢へと旅立つ事が出來たのであつた。

◇

奥の細道は、かつて西行も通つた道であつた、宗祇も亦その道を通つてゐる、此所に芭蕉が、此の同じ旅程の行脚を思ひ立つた事も當然の心の動きでなければならない。

◇

その小文で『西行の和歌における、宗祇の連歌における、雪舟の繪における、利休が茶における、その貫通するものは一なり』と喝破した彼は、最後これに『芭蕉の俳諧における』の一事を追加する事が、生涯の事業であつた、此の一事は小なる如くであるが、今日國民詩にまで一大發展を遂げた俳句の進歩發達を見る時、彼の事業は、實は國民文學の建設の爲めに獻身の努力を捧げたものでなければならない。

◇

さうして、此所にも、文學の世界においては、西行から宗祇へ、さらに芭蕉へと、精神の受けつがれて行つた事が感ぜられる。

芭蕉は藝術の磨きに、その生活の精神をかけた、それと、もに、藝術精神の鍛錬に、一層の努力を集中した『さび』と云ひ『しをり』といふ、彼の藝術精神を端的に表現した語は、彼が磨きに磨き鍛えに鍛えた、その最後の根本のエキスがそれであつた、それ故、これは百億の深奥を藏するものであつて、わが國の藝術の本質は、彼の到達した此の深奥な語の中に解明の鍵がひいつまで經つても有難い緣を結んで貰ふ機會がない。

▽……△

そこで、そういふ人達のために精神の安定、肚の修養を禪によつてお話致そうと云ふのであるが、大体禪話と云ふものには色々難解の字句や講釋が出て初めてのシロトには一寸入りにくいとされて居る、然し禪學本來の面目は決してソンナものではない、眼に一丁字無き人でも心を空うして居たら必ず悟ることが出來るものである。で、本號より回を逐ふて出來るだけ平易に誰れにでも分るやうに禪及び禪學を說いて行かうと思ふ、やかましい種々な取締法で外國字の新聞は惹氣地なくも昔日の勢氣を失つて來た、だが他人の家に厄介になつて居る以上それも亦止むを得ぬ事、せめて外に伸びる力を内に深く培ふことが出來たならば、禍を轉じて福と爲すものと言へやう、蓋し我が南米新報が微力ながら此の間に處して斯かる方面に活きる血路を開きて讀者と共に自利々他圓融の大道を高踏せんとするものである。

▽……△

或る青年が鎌倉の一老師に直參したときの話である、かねての望みが叶つて老師に面會した青年は、小半時も種々心の苦悶を訴へた、最初から一言も發せず默つて聞いてゐた老師は、庭前に繞く松林からはるか沖合の方を眺め乍らひとり言のやうに『一ぱい風をはらんで、帆まへ船が氣持ちやう走つてるなア』

青年は坐禪の道場に通つて、かなり久しい以前から一通りのことは學んでゐたが、しかしこれと云ふ悟りを得ず幾多の煩悶をしつゞけて、今、老和尚に見え、あらひざらひ訴へたのである、社會の欠陷を訴へた、家庭の事情を訴へた、自分の意氣地なさを訴へた、そして最後にこの苦痛を訴へた。

『私は電車が恐ろしくてたまりません、全速力で走つてゐることを思ふと、それが轉覆しそうでたまらない、鉄輪がレールときしり合ふ音を聞いてゐますと、今に車台ごと砂利の中に突つ込まれ殺されそうです』と

老師は青年の訴へを聞いてゐるのか、ゐないのか遙か沖合の帆まへ船をながめ乍ら、獨語のやうに更に語をついでいはれた『あんたは、沖合を走つてゐるあの帆まへ船を止あてしまふ工夫をするがい、』

青年には老師の言葉が余りにも突飛であつた、たゞ茫然として言ふ所を知らなかつた、しかしその日から五日を經た日の午后であつた、青年は老師を訪ねて室に入るやお辭儀もせず、いきなり、コロつと横になり自分の右足をぐんと上に突き立てた、袴を足に指先きに引つかけて引つぱり上げた、その爲す所にワザとらしき所なく少しも不自然な感じがない、その姿は正に風を一ぱいはらんで進んでゐる帆まへ船そのものであつた、誰れの目にもさうとうなづかれる大藝術が、そこに演出された。

老師は悅ばしさうに眼を細めて、自ら起つて室の西窓を明け放された、こゝには富士の秀峰が青い大空に浮んで、くつきりと見えた、老師はそれを指さし乍ら青年にいはれた『あんたの富士山を歩かせることが出來るか』青年は聞きも終らず起ち上つて室の中を三歩四歩、歩いた、そして青年は威容を改めて端然と坐し、蕭然として師の前を去つた。

▽……△

老師は青年に向つて沖合を走つてゐる帆まへ船を止めてしまふ工夫をしろといはれた、これが既に世上の談でない、青年がゴロつと横になつて帆まへ船になつた、更にまた富士山を歩ませることが出來るかといはれて、即座に起つて室の中を歩いた、何んといふことか、人はこれを聞いて驚き且ついぶかり而して嘲笑するであらう。

奇は奇である、禪の消息に通じない人が驚きいぶかるに無理は無い、しかしながらこの奇はよく正を現はすに足るものである、所謂臨濟禪に於ては、この奇を現はす境地に到る事を、修道者の重要なる目標とする。

臨濟禪の考師の下には古來この種の話が數多くあるが然し曹洞禪の老師の室内にはこれが甚だ少い、しかし絶無ではない、また絶無でなければならないといふ譚はれは毛頭ないのである。

肚の修養禪の話

（一）

山田靈林稿

無文漢數行

人間は誰れでも――それがどんなに教育の高い人でも亦社會的地位や富の豐かな人でも、精神が第一シツカリして居なければ何んにもならない、即ちハラが出來て居ないと波風荒いこの世の中に處して、いつもいくらくしたる生活をしなくてはならない、況してこの世の中は隨分うるさい事や面倒な問題や、シヤクの種子が絶えないものであるが、特に祖國を遠く離れて轉々放浪の旅をつゞけて居る我々なれば、一層心の動搖は免れないと言つてよい。

之れを宗教的に安心立命の境地に悟入出來れば其人は幸福の上乘なるものであらう、併し在伯邦人一般の精神生活を觀ると、そういふ宗教的機緣に結ばれる機會を與へられる者は甚だ少ないやうである、の多くは天國（日本人の）の福音は說いて與れるが、それを聽く人は大概信仰の必要を感じて居る所謂既に宗教に緣のある御同行衆なる場合が多いのである、從て最後にこの等まで來る人は、沖合を走つてゐるあの帆まへ船を止あてしまふ工夫をするがい、

胃病？

苦い唾が出たり――食もたれ――氣力衰へ――動悸激しく――胃痛にてお困りの方は遠慮なく左記へ手紙を下さい專門醫の處方療生法等を無料で傳受致します

(H1)

CX. POSTAL, 3.904
RIO DE JANEIRO

謹賀新年

熱帶ノ伯國ハ絶對保証シテ弊店ニ限ル是非一度御試シ下サイ

專門　駒場ブリキ店

駒場幸太郎

市内ルアコンデ・デ・サルゼーダス五一

賀正

時計修繕

佐古田時計店

市内コンデ・ド・ビニヤール一五四

謹賀新年

農産物委託販賣

笹岡忠雄商店

市内青物市場バラツカ二五

賀正

岡山

市市コンデ・ド・ビニヤール一三五
電話　二一六〇三七
自宅　ルア、ジユピテル七六
電話　七一三四四〇

謹賀新年

昭和十五年一月一日

ホテル八千代

佐藤清義
仝　蓮子

市内コンセレイロ、フルタード三二一
電話　二一三六七八　郵函　一六九四

謹賀新年

旅館八州（ヤシマ）

館主　小野豊謹白

市内　コンセレイロ、フルタード七〇

謹賀新年

金城歯科醫院

市内ルア、クリストボン、コロンボ三
電話　二一八〇五八

謹賀新年

大原兄弟商會

農產物賣買

聖市ルアパウラソーザ二三一
電話　四一二八三一

支店

アラサツーバ
グワラ、ペス
ミランドポリス

謹賀新年

國井商店

日本品直輸入元

聖市　イルマン
シンプリシアーナ街九四
電話　二一五二五五
郵函　二九九八

バウルー支店

バウルー市　プリメイロ
デ　アゴスト四一四
電話　五八八

謹賀新年

伊藤商會

直輸入商

市内　イルマン
シンプリシアナ街七八
電話　二一八七八四
郵函　三一三二

謹賀新年

明けまして御目出たう

本年も相變らず御引立の程願ひ上げます

和歌山旅館

市内コンセレイロ・フルタード二七三
電話　二一八三四九

謹賀新年

日本書籍雜誌各種

南米堂書店

仲眞美登里

市内イルマン・シンプリシアーナ一二二
郵函　三七〇〇

謹賀新年

職業紹介所

新生社

聖市コンセレイロフルタード街二七三
グロリア街三八〇

謹賀新年

內外各種雜穀並ニ酒類

薄利多賣
配達迅速

池永兄弟商店

市内コンデ・デ・サルゼーダス街二九四
電話　二一七二二六

謹賀新年

富士屋運動具店

竹田富藏

聖市　タマンダレ街三四六

謹賀新年

茶園主

岡本寅藏

店　市内キンゼ街五三
卸部　市内タバチンゲーラ二六二
サントス支店
サントス市プラスクーバス三七八

謹賀新年

辯護士
公証翻譯人

木下正夫

市内　木下法律事務所

（中矢商店上）
電話　二一六三〇七

MASSAO KINOSHITA
ADVOGADO
Caixa Postal 1386
São Paulo

謹みて新年を賀し併て皆樣の御多幸をお祈り申上ます

尙今年も倍舊の御引立をお願申上ます

皆樣の食堂

昇月

市内コンデ・ド・ビニヤール一五四

俳精神日本の俳句

（稿　村田瓢杉）

▽……△

元日や一系の天子不二の山　鳴雪

この句は、日本人として國體美及び國體愛の讃歌である、この國土愛・國體愛は日本精神の主要々素である、されば、日本精神を鼓吹する中等校の國語讀本に於ては、この句が最も多く採錄されてゐる。

これと同數に該讀本に採錄されてゐる俳句に左記がある。

黄菊白菊その外の名は　嵐雪
なくもがな

これには、わが日本精神の一特色である潔白性乃至淡泊性がうたはれてゐるが、そこに當事者がこれを教科書に採用した理由があるものと考へる、而して、かうした句の妙味は、わが國民の如き潔白性淡泊性を有しない外國人のどうしても理解し玩味し得ぬところで、從つてこの句は最も日本人的な俳句の一つといへよう

▽……△

なほ、中等校の國語讀本に採られてゐる俳句について見るに、

春の海ひねもすのたり
〳〵かな　蕪村

梅一輪〳〵ほどのあたたかさ　嵐雪

枯あしの日に〳〵折れて流れけり　闌更

菜の花や月は東に日は西に　蕪村

杜鵑なくや湖水のさゝにごり　丈草

枯枝に鳥のとまりけり秋の暮　芭蕉

長々と川一筋や雪の原　凡兆

等、自然愛好の句が非常に多い。

▽……△

佛蘭西に始めて俳句——俳諧詩——を流行せしめたポール・ルイ・クーシュー氏は、『四季の景物、山水花鳥、風月はすべて日本人の友であり、客である、物見、遊山、節句、祭、茶の湯は悉く自然鑑賞の機會であり、口實である、日本人は自然の寵兒であると同時に、自然はまた日本人の寵兒である、自然と人間との融合、これが實に日本人の生活樣式である』と、日本人の愛自然性を稱揚し、俳句はつまり、この愛自然性から生れるものと解したのであるが、それほどに日本精神には愛自然性が多分に包含されてゐる、從つて俳句にも自然愛好のものが多いのである。

▽……△

行水の捨てどころなし　鬼貫
虫の聲

朝顔に釣瓶とられて　千代
貰ひ水

右の二句は、共に人々に熟知されてゐるが、これについて笹川臨風博士は

喞々たる虫の聲に行水の捨てどころなきをかこち、朝顔に釣瓶とられて水を隣りに乞ふは、自然を愛好する我國民性の纖細なる感情で、そこに寂、寂、細みの體得がある。といつてゐる

また、中等校の國語讀本には、

大根引大根で道を教へけり　一茶
雀の子そこのけ〳〵御馬が通る　同
やせ蛙負けるな一茶是にあり　同
やれ打つな蠅が手をする足をする　同

名月をとつてくれろと泣く子かな　同

口あいて佐渡が見ゆると涼みけり　紅葉

鶯の身をさかきまに初音かな　其角

西瓜太郎殼ヵ出でよと割つてけり　環音

叩かれて畫の蚊吐くを木魚かな　漱石

手をついて歌申し上ぐる蛙かな　宗鑑

等、諧ぎやくく味のある句も多く採られてゐる、而してこの諧ぎやくく性も亦日本精神の一大要素である、尙上記の讀本の採錄句數より見るに、延句數に於ては、一茶の百五十四句は蕉村の百八十三句、芭蕉の百八十一句に一籌を輸するけれども子規の百三十三句、鳴雪の六十七句、其角の六十一句、虛子の六十句に遙かに勝り且つ異句數に於ては、一茶の八十三句は、子規の九十五句には叶はぬけれども、蕉村の六十九句、芭蕉の六十七、虛子の三十六句、鳴雪の二十七句よりは甚だしく多いのを見る、政に、延句數と異句數との兩方面より觀察する時には、一茶の句は最も歡迎せられてゐるといへる、換言すれば一茶の如き諧ぎやくく味のある句は我國民性に最も投するのであるから、この見地よりしても、わが日本精神の一特色として諧ぎやくく性を重視せねばならぬ。

この點について、井上哲次郎博士はその著『日本精神の本質』に於て、

文學方面について云へば悲哀の文學もないことはないが、全體として陽性樂觀の文學が遙かに優勢を占めてゐる、殊に江戸時代に發達した平民文學では先づ俳句を推すが、俳句はなか〳〵特色があるる、大部分は僅か五七五の十七字で感興を述べたものであるが、多くは所謂俳味を帶びて、陽性樂觀の性質が勝つてをる、例へば『手をついて歌申上ぐる蛙かな』などといふものは、余程諧ぎやくく氣味がある、之を漢詩に較べると大分違ふ、漢詩の方には、沈鬱悲壯の調や慷慨悲憤の句が種々あるが俳味を帶びたやうな漢詩は容易に見出し得ない、諧ぎやくくの氣分のある漢詩は何處にあるか『唐詩選』『三體詩』『千家詩』などの中には一首も見出し得ない、俳句は何んでもないやうで、なか〳〵日本の民族性を余程よく現はしてをるといつてよい、概して之を云へば日本民族は如何なる艱難辛苦の場合でも簡單に之を樂觀し去るだけの精神力を有してゐる、俳句はさういふ情を云ひ表はした文學としてなか〳〵味がある、その思ひ切りのよいところ、その積極的の態度、そこに長所があると論じてゐる。

食糧政策に就て

歐洲戰と供給配給の圓滑

東京　農林省

（四）

この命令は四月二十六日に二リットル以上の米、碎米又は米粉を所有する者にその品名、數量、及び氏名を中央購買會社に申告することを命じたものである。

申告者は會社から要求があれば賣却しなくてはならない。賣却の要求は申告後一週間以内に發せられるが要求を受けた時は、その物品は差押へを受けたのと同樣な拘束を受け、占有者はその物について何等の變更を加へることができない、また保管についても注意すべき義務を課せられた。

これより先き、一九一四年には穀物と穀粉の現在高調査をなし、翌一五年には製パン原料の差押へと專賣を斷行し同年六月には同年の新收穫期までに消費する量を除き他は全部收穫すると同時に政府へ提出させた

消費の方面については製粉歩合を（現在ブラジルで行つてゐる如く）制限した上、一日の消費量を節約させ、節約の徹底を期した。

かやうにドイツは生産、消費の兩方面に色々の對策を講じたのであるが、戰が長引くに伴つて食糧不足は益々深刻化し、その配給は僅かに饑餓をしのぐ程度に過ぎなかつた、しかしドイツは、あの國民精神特にあの熱烈な愛國の精神から不平一つ漏らさず金持ちも貧乏人も、平等公平に配給を受け苦痛を忍んだのであつた

これは配給組織が完備してゐたせいでもあるが、大戰末期に至るまで食料の欠乏に屈服しなかつたのはドイツ國民精神の偉大さを示すものである。

ドイツ軍の侵入と佛の自給自足

ドイツが小麥の三割三分を外國からの輸入に仰いでゐたのと異つて、フランスは大戰前には食糧は殆んど自給自足してゐた、從つて食糧不足の恐れはなさそうだつたが、戰が進むにつれ勞働不足が生じて來た上に小麥のできる地方をドイツ軍に占領され、一方軍需が增加した、め遂に自給自足の經濟は破れざるを得なくなつた。

そこで政府は食糧品の輸出を禁止すると共に輸入稅を撤廢して補給に努めたが供給不足はます〳〵甚だしく買占め、賣惜み等の現象が現はれて來た、こゝに於て小麥・ライ麥、馬鈴薯など次ぎ〳〵と最高價を定め必要に應じてその最高價格で生產者、商人等から食糧品の徵發をなし得ること、した、生產の增加を計るためには農業委員會を設けると共に、各町村の農事委員會に肥料種子等の購入に當らせた、また勞力の不足を補ふためには捕虜の使役、應召軍人の歸省、婦人子供の動員等の外移民を歡迎して耕作に當らせた。

○——○

配給の方面では消費組合が設立されて目ざましい活動を續け、特にパンは原料を直接生產國から購入して仲介者の手を經ず消費者に供給し、その規模が非常に大きかつたので、一般の商人より遙かに安いパンを供給することが出來た。小麥の價格は暴騰したにもかかはらずツールーズの組合などは遂にパンの値上をしなかつたほどである。フランスの食糧政策の特長は公設市場の設定を奬勵したことであつて、公設市場が一般商人をリードして、食糧品に對する投機取引を抑壓したのであつた。

○——○

聯合國の爲め國內を統制

アメリカは食糧品の非常に豐富な國で、戰前歐洲諸國へ食糧品を輸出し、ヨーロッパの穀倉といはれた國であるから、參戰しても自分の國で食糧に困るやうなことはなかつた。しかし、聯合國を勝利に導くには、これに食糧を供給する必要があり、このために米國は如何なる犧牲を拂つても食糧を供給するといふ決意をしたのである。消費の方面では、あれだけ食糧の豐富な國でありながら、できるだけ食糧を節約するやうに指導した。また街には名譽食堂、少年少女自由食糧クラブ等が出來、代用食の研究が行はれ、混用食を自發的に勵行されて相當の効果を擧げたのである。

○——○

食糧問題の中樞機關となつたのは食糧管理局であつて、同局は參戰直後に發布された『食糧管理法』と『食糧調査法』の運用の衝に當つた『食糧管理法』は一價格の驕貴と供給を制限する目的として食糧を故意に減損、浪費し、又は獨占することを禁じ、二、食糧の配給に關する免許權を大統領に賦與し、三、死藏品を差押へ、販賣の權を與へた法律であつて『食糧調査法』は、この管理法の實施に必要な調査について規定した法律である。

この兩法は『間接取締法』と相俟つて、アメリカの戰時經濟に非常な貢獻をし多大の効果をあげた。

（をはり）

謹賀新年
アラード カルピデーラ カロッサ
其他農具一切
青山兄弟工場
アラサツーバ市
郵函 二〇八

謹賀新年
野村工務所
マリヽヤ市

Federação Industrial do Japão
EDIFICIO BANCO DE SÃO PAULO
Caixa Postal, 4058 Tel. 3-2243
皇紀二千六百年元旦
サンパウロ
貿易斡旋所
聖市 サンパウロ銀行ビル十三階
電話 三一二二四三
郵函 四〇五八

謹賀新年
間崎之雄
ブロミツソン市

謹賀新年
新年を前に擴張しました
製作修繕等に迅速丁寧
馬具 靴 其他
森園兄弟靴店
本店 グワララペス市
支店 バルバライゾ市

謹賀新年
野兄弟製作所
馬具、靴其他一切
製作、修繕に應じます
アラサツーバ市
マレシヤル テオドロ一一五
郵函 二〇八

謹賀新年
一月元旦
甲斐耕地
甲斐喜次郎
ペンナポリス驛

謹賀新年
松原宗親
ベーラクルース市

謹賀新年
汎ベラクルース
日本人會
ヴエラクルース

Soc. das Reunidas Tinturarias Japonezas de SÃO PAULO
謹賀新年
聖市日本人洗染同業組合

謹賀新年
小間物化粧品部
新里理髮店
新里次郎
アラサツーバ市 郵函 二〇八

謹賀新年
桐木雜貨商
桐木乙十
アラサツーバ市

謹賀新年
庭木及盆栽花苗類
確實なるもの安價販賣す
原理
果樹苗木生產場
米森一郎
アラサツーバ市
郵函 二〇八

謹賀新年
（食堂）
食道樂
竹內喬
ベラクルース市

謹賀新年
カーザ東山
サントス事務所（郵函九一一號）
サンパウロ事務所（郵函五二八號）
リオ・デ・ジヤネイロ事務所（郵函三三四二號）
リンス事務所（郵函一一號）
マリヽヤ事務所（郵函七四號）
ブロミツソン事務所（郵函一一六號）
アルヴアレス・マツシヤード精選所（郵函一一號）
グワランタン精選所（郵函六五號）

謹賀新年
東山銀行
サントス本店（郵函九一一號）
サンパウロ支店（郵函五二八號）
リンス支店（郵函一一號）
マリヽヤ支店（郵函七四號）

謹賀新年
東山農場
カンピナス農場（郵函五九號）
ピンダモニヤンガーバ農場（郵函一〇號）

謹賀新年
東山工業部
酒造工場（郵函五九號カンピナス）
絹織工場（郵函四二九六號サンパウロ）
絹織物販賣店（リベロ・バダロ街一三〇サンパウロ）

スパイの回想記

名門に生れた獨逸の軍事探偵

アー・カー・グラーブス原著

（四）

そこで私は彼に、では私はどんな仕事をするのかそれを說明して呉れと頼んだのだ。すると『それを答へる前にあんたが此の仕事をする決心がついたかどうかを聞かして貰ひ度い』

と言ふ至極もつともな催促であつたので私は言つた。『決心はついてゐます。今となつては私が直ぐ何事も要求されないとすれば、此の世の中の道義に叛くものであると言ひ度い位です』

大佐の面上を一種獨特な笑がサツとよぎつたのに氣がついた。それから大佐は私の目を眞直ぐ見入り乍ら鋭い刻みつけるやうなあの獨逸軍人の口調で言つた。

『我々は、敵の用ゆる武器は、又我々も用ゆるのである。我々は氣むづかしく考へてなどゐられない、切迫した事態は非常に重且つ大であつて個人的な倫理觀など差し挾む余裕を與へては呉れない。そこでね一にあんたに要求することは、我々が探求する情報を齎らす事だ、情報の入手方法は全然あんたの自由裁量にまかす。我々は只結論を期待してゐる。

○

必要な事に關しては我々が有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、といふ事をよく辨へて置いて貰ひ度い。仕事は危險であるが、官からの如何なる救助も事情がどうあらうと期待してはならない』

○

私は身を以て此の事が眞實だと言ふ事を後に知つたそれは好いとして、タヅケン大佐は金錢上の好御を持ち出すのを忘れてゐる樣なので私は督促した。すると彼は直ぐに

『それはやつた仕事の如何に關はつてゐる。始めに機密費として年四千馬克宛の手當を渡す。それから一日十馬克宛の生活費を仕事のあるなしに不拘支給する。一つ〳〵の仕事の成果に對してはボーナスを支給するが、その額は使命の重要性に從つて高低がある。生活費は一日四十馬克を越してはならない。又ボーナスはいち〳〵使命を與へられると共に前以て決める事にしてゐる。もう一つあんたの收入の增加分は三分ノ一丈五分の利子の預金として保管する』と言つた。私は笑ひ乍ら『イヤ、私は自分の金を始末する位は自分で出來ます』大佐は笑ひの影をその口邊に漂はせて言つた

○

『あんたには多分出來やうが有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、といふ事をよく辨へて置いて貰ひ度い。仕事は危險であるが、官からの如何なる救助も事情がどうあらうと期待してはならない』

○

私は身を以て此の事が眞實だと言ふ事を後に知つたそれは好いとして、タヅケン大佐は金錢上の好御を持ち出すのを忘れてゐる樣なので私は督促した。すると彼は直ぐに

『それはやつた仕事の如何に關はつてゐる。始めに機密費として年四千馬克宛の手當を渡す。それから一日十馬克宛の生活費を仕事のあるなしに不拘支給する。一つ〳〵の仕事の成果に對してはボーナスを支給するが、その額は使命の重要性に從つて高低がある。生活費は一日四十馬克を越してはならない。又ボーナスはいち〳〵使命を與へられると共に前以て決める事にしてゐる。もう一つあんたの收入の增加分は三分ノ一丈五分の利子の預金として保管する』と言つた。私は笑ひ乍ら『イヤ、私は自分の金を始末する位は自分で出來ます』大佐は笑ひの影をその口邊に漂はせて言つた

○

『あんたには多分出來やうが有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、切迫した事態は非常に重且つ大であつて個人的な倫理觀など差し挾む余裕を與へては呉れない。そこでね一にあんたに要求することは、我々が探求する情報を齎らす事だ、情報の入手方法は全然あんたの自由裁量にまかす。我々は只結論を期待してゐる。

○

必要な事に關しては我々が有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、といふ事をよく辨へて置いて貰ひ度い。仕事は危險であるが、官からの如何なる救助も事情がどうあらうと期待してはならない』

○

私は身を以て此の事が眞實だと言ふ事を後に知つたそれは好いとして、タヅケン大佐は金錢上の好御を持ち出すのを忘れてゐる樣なので私は督促した。すると彼は直ぐに

『それはやつた仕事の如何に關はつてゐる。始めに機密費として年四千馬克宛の手當を渡す。それから一日十馬克宛の生活費を仕事のあるなしに不拘支給する。一つ〳〵の仕事の成果に對してはボーナスを支給するが、その額は使命の重要性に從つて高低がある。生活費は一日四十馬克を越してはならない。又ボーナスはいち〳〵使命を與へられると共に前以て決める事にしてゐる。もう一つあんたの收入の增加分は三分ノ一丈五分の利子の預金として保管する』と言つた。私は笑ひ乍ら『イヤ、私は自分の金を始末する位は自分で出來ます』大佐は笑ひの影をその口邊に漂はせて言つた

○

『あんたには多分出來やうが有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、切迫した事態は非常に重且つ大であつて個人的な倫理觀など差し挾む余裕を與へては呉れない。そこでね一にあんたに要求することは、我々が探求する情報を齎らす事だ、情報の入手方法は全然あんたの自由裁量にまかす。我々は只結論を期待してゐる。

○

必要な事に關しては我々が有つてゐる智識は何時でもあんたが利用してよろしい、又我々の組織はあんたの活動を援助する事も出來る。然し、あんたが捲き込まれるどんな困難からも我々の救ふ道は絶對にない、といふ事をよく辨へて置いて貰ひ度い。仕事は危險であるが、官からの如何なる救助も事情がどうあらうと期待してはならない』

○

私は身を以て此の事が眞實だと言ふ事を後に知つたそれは好いとして、タヅケン大佐は金錢上の好御を持ち出すのを忘れてゐる樣なので私は督促した。すると彼は直ぐに

『それはやつた仕事の如何に關はつてゐる。始めに機密費として年四千馬克宛の手當を渡す。それから一日十馬克宛の生活費を仕事のあるなしに不拘支給する。一つ〳〵の仕事の成果に對してはボーナスを支給するが、その額は使命の重要性に從つて高低がある。生活

その指令といふのは何なのですか』

○

私がそう訊くや香や、大佐の面から温和な親し味が全く消えてしまつた。それは實に嚴格な容易ならぬ顏つきであつた。

『部員よ、出發に當つて此の事をよく胸に疊み込んでおきなさい。質問もいかん喋るのもいかん。此の仕事には澤山の不文律がある事が直きに解る樣になるだらう』私は決して此の事を忘れなかつたそれは秘密探偵として最初の教訓だつたのである。

一、スパイの教育

翌朝早く、私は希望に胸をふくらませて眼を覺ましタヅケン大佐の許へ急いだ正十時に受付に立つて例の手續きをとつてから、導かれた先はタヅケン大佐の秘書スタムマー氏の所であつた。私達が二人のきりになるとすぐスタムマーは口を切つた。

○

今日から君は完全にそして絶對的に諜報勤務從事するのである。君は毎日十二時に或る番號の電話をかけて連絡をとること。そして何時でも直ちに命令に服することが出來る樣に準備しておかなければならぬ。それから君は次の規則に充分の注意を拂ひ給へ。

君は自分の使命については絶對に沈默を守ること、直屬上官が、派遣された先の相手以外には使命の事を口にしてはならぬ。備忘錄をつけたり、書類を持つて歩いたりしてはならぬ。部內で出逢ふ如何なる部員とも仕事に就いて論じ合ふことは絶對に禁物である。なるべく人に會はない樣に心かけ、特派員達と友人となり、親交する事は嚴しい反則となる。酒は愼まなければならない。又如何なる婦人とも交際する事は許されないことになつてゐる。我々の間に於ては君はある番號に依つて呼ばれる。そして君の報告書はすべてその番號を署名すればよろしい絶えず出來る限り電信電話の使用を避け、よんどころない場合のみ君に渡された暗號を用ひる樣にする』

○

それから彼は色々と細々しい注意やら教訓の數々を述べた。然しそんな事は退屈だから止めておかう。午前中彼の部屋にゐて、それから私はタヅケン大佐の許へ案內されて、第一の使命を與へられるものと思つた所が私は最初の仕事を與へられる前に、五ケ月間、來る日も來る日も每週々々秘密探偵として重要な基礎的な智識を修めなければならなかつた。

○

大體私のうけた教育は四つに分類出來る。地誌學、三角法、海軍造船學及び設計法の四つである。私の教師は皆獨逸海軍中の專門家であつた。秘密探偵が、例へばフランスのベルダンの要塞の諸條件、位置、武裝等の諜報を命ぜられた時には、距離や高度、角度、地理的條件其他を正確に制斷することが出來なければ何にもならない。かゝる判斷が出來るには、正確な科學的智識を持たない限り不可能である。スパイは地誌學を爪先まで有つてゐることが必要だ。又設計者の如く三角法で以て敏速確實に計算する能力が必要である。

○

同じ事が海軍造船學に就ても言へる。誰でも水雷艇と驅逐艦の區別位は知つてゐる。然し驅逐艦や水雷艇の樣々な型を明瞭に說明することは勿論出來ないだらう。私の教師はステフエンといふ大尉で海軍諜報部內の水雷艇の專門家であつた一ケ月同大尉の敎へを受けた私は列强諸國が使用してゐる水雷艇、潛水艦、水雷の種々な型をすつかり飲み込み、出港する水雷艇の號箇を聞き何といふ艦か判斷する事も出來る樣になつた

○

私は世に知られてゐる凡ての海軍法の種類を學び、多くの戰艦の模型に覺いて敎へられ、世界中の一切の軍艦を模型に依つて學んだ或時は諜報部の一室に於て樣々な有名な戰艦の影繪をつるした壁を前に數日間坐つてゐたこともあつた。そうして終ひには一目軍艦を觀たのみで、戰艦、巡洋艦驅逐艦の區別は勿論それが何國の軍艦かさへ見別ける事が出來る樣になつた。

又世界各國の海軍士官の全階級、制服、軍艦の全乘組員、旗信號、電信符號等々を悉く詳細に學び記憶するに至つた。

○

私は伯林の參謀本部や諜報部で敎育をうけたばかりでなく、キース、ウイルヘルムスハーフエン等の國立工廠に出掛け實地敎育をうけた。海軍造船の機械學を明細に修め、大砲、水雷發射管、水雷等を分解した如何なる部分品をも指摘出來るやうに勉强した。

私はこの五ケ月の敎育期間に獨逸諜報機關のあらゆる專門家に就て學び、參謀本部の機構の隅々まで完全に觀察することが出來た。私はかゝる機會を失せず、必要以上に觀察した。驚くべき人力、時間、金錢の額が參謀本部の機密記錄中の諜報蒐集の爲に消費されてゐる。獨逸帝國には驚歎すべき戰爭の體系が完成してゐた。自然私は敎へられる以外の事をも直ぐ知る樣になつてしまつた。然し私はそういふ事には簡單に觸れて、自分が始めて與へられた重要使命に移ることにしよう。

精米機

精米機『トナミ』印凡て鉄製にて完全なるもの、十時間に百俵の精米能力あり、賣價は至極安價、再び斯かる好機はなかるべし、希望者は左記へ

Sr. Germano Coracini - Garça C. P.

貴金屬？

金銀白金寶石類質札及び貨幣一般に就て其の眞價を知り度い場合、或は賣買の場合には先づ左記公認貴金屬鑑定人プレタニヤ氏をお訪ね下さい、聖市に於ける公認鑑定家として安心して相談のできる者は之れのみ。

Sr. BRETANHA Praça Patriarcha, 8 s./5-D Tel. 2-8272

（賀）（正）御國屋 市內コンデ・ド・ビニヤール一八〇

（賀）（正）井上藥局 市內コンセレイロ フルタード

謹賀新年 バザール東京 岡本專太郎 マリ、ヤ市サンルイス街七八九 郵函 六六—電話 一四四

謹賀新年 鈴木旅館 鈴木季造 プロミツソン市

OCULISTA DR. SEBASTIÃO FERREIRA 眼科專門 トラホーム根本治療 眼科手術一般 耳鼻咽喉科 衛生局長 ドトル セバスチヨン フエレイラ アラサツーバ公園前 同業 松島谷二 アラサツーバ市ルア ゼネラル オゾリオ三一八

謹賀新年 セギ カーザ CASA H. OKAMOTO Matriz....MARILIA — Filial...POMPEIA 本店 マリ、ヤ市 サンルイス街八五八 郵函 一四五 電話 九三 店主 岡本春一 支店 ポンペイヤ市 バウル街二一四 郵函 二一四 主任 河端政市

謹賀新年 棉花仲買 日伯產業 ピリアニツト 土地會社 バウリスタ延長線地方 代理人 上田留五郎 マリ、ヤ市

謹賀新年 皆樣の バール 久保 久保勝 アラサツーバ市

謹賀新年 內外小間物並に文房具店 卸小賣一切 島袋商店 マリ、ヤ市 本店 サンルイス街八一八 支店 バロンデバナナル街一五五

謹賀新年 內外雜貨小間物專門店 皆樣の バザール日本 神頭喜代治 マリ、ヤ市 本店 ノーベデジユリヨ街一一〇〇 支店 サンルイス街八五七

謹賀新年 ジユケリー農產組合 本部 聖市郊外ツクルビー アベニーダ ノーバ カンタレイラ二二四 聖市倉庫 ミゲール カルロス街七七一七八 電話 四—一九七〇 蔬菜部 野菜市場 電話 三—三六八七

謹賀新年 バール大釜 バウルー驛前角 領事館提出諸屆諸願書代書 郵便小包代理受領取次 バ中日會書記大釜

謹賀新年 皇紀二千六百年を祝す 齒科醫 寶臣衛 マリ、ヤ市キンゼ・デ ノーベンブロ八八九 郵函 三六〇

謹賀新年 カフエ、棉花、米賣買及農場 精珈、精米工場及倉庫 日本品輸入中將湯伯國代理店 瀨木商店 マリ、ヤ市ルア、カストロ アルベス一五〇 郵函 一四五 電話 八五 聖市倉庫 ブラツサ カルロス ゴーメス二二 電話 三—一六三一

謹賀新年 特に日本人各位の御相談へは御便宜を計ひ申上ます シンゼル ミシン 取次店 （附屬品一切代理人） 米倉仙八 グワララベス市 郵函七二

謹賀新年 一九四〇年一月元旦 グワラサイ商工組合 雜貨商 岡崎伊吉 仝 平田傳藏 仝 小關敬吉 バールソルベテリヤ 鈴木勘十郎 バール並に日本人郵局 山口光秀 ホテル 橋本定市 靴店 桑田政雄

謹賀新年 バール 池永 店 市內リベロバダロ三八〇 自宅 ガマ セルケーラ六一六

俳句の日本精神

（稿）村田杉

▽……△

元日や一系の天子不二の山　鳴雪

この句は、日本人としての國土禮讃であると共に、國體美及び國體愛の讃歌である、この國土愛・國體愛は日本精神の主要々素である、されば、日本精神を鼓吹する中等校の國語讀本に於ては、この句が最も多く採錄されてゐる。

これと同數に該讀本に採錄されてゐる俳句に左記がある。

黃菊白菊その外の名はなくもがな　嵐雪

これには、わが日本精神の一特色である潔白性乃至淡泊性がうたはれてゐるが、そこに當事者がこれを教科書に採用した理由があるものと考へる、而して、かうした句の妙味は、わが國民の如き潔白性淡泊性を有しない外國人のどうしても理解し玩味し得ぬところで、從つてこの句は最も日本人的な俳句の一つといへよう

▽……△

なほ、中等校の國語讀本に採られてゐる俳句について見ると、

春の海ひねもすのたり〳〵かな　蕪村

梅一輪〳〵ほどのあたかさ　嵐雪

枯あしの日に〳〵折れて流れけり　闌更

菜の花や月は東に日は西に　蕪村

杜鵑なくや湖水のさゝごり　丈草

枯枝に鳥のとまりけり秋の暮　芭蕉

長々と川一筋や雪の原　凡兆

等、自然愛好の句が非常に多い。

▽……△

佛蘭西に始めて俳句——俳諧詩——を流行せしめたポール・ルイ・クーシュー氏は、『四季の景物、山水花鳥、風月はすべて日本人の友であり、客である、物見、遊山、節句、祭、茶の湯は悉く自然鑑賞の機會であり、口實である、日本人は自然の寵兒であると同時に、自然はまた日本人の寵兒である、自然と人間との融合、これが實に日本人の生活樣式である』と、日本人の愛自然性を稱揚し、俳句はつまり、この愛自然性から生れるものと解したのであるが、それほどに日本精神には愛自然性が多分に包含されてゐる、從つて俳句にも自然愛好のものが多いのである。

▽……△

行水の捨てどころなし虫の聲　鬼貫

朝顏に釣瓶とられて貰ひ水　千代

右の二句は、共に人々に熟知されてゐるが、これについて笹川臨風博士は

卿々たる虫の聲に行水の捨てどころなきをかこち、朝顏に釣瓶とられて水を隣りに乞ふは、自然を愛好する我國民性の纖細なる感情で、そこに寂、寂、細みの體得がある。といつてゐる

また、中等校の國語讀本には、

大根引大根で道を教へけり　一茶

雀の子そこのけ〳〵御馬が通る　同

やせ蛙負けるな一茶是にあり　同

やれ打つな蠅が手をする足をする　同

名月をとつてくれろと泣子かな　同

口あいて佐渡が見ゆるとすゞみけり　紅葉

鶯の身をさかさまに初音かな　其角

西瓜太郎殼ゝ出でよと割つてけり　環音

叩かれて畫の蚊吐くを木魚かな　漱石

手をついて歌申し上ぐる蛙かな　宗鑑

等、諧ぎやく味のある句も多く採られてゐる、而してこの諧ぎやく性も亦日本精神の一大要素である、尙上記の讀本の採錄句數より見ると、延句數に於ては、一茶の百五十四句は蕪村の百八十三句、芭蕉の百八十一句に一籌を輸するけれども子規の百三十三句、鳴雪の六十七句、其角の六十一句、虛子の六十句に遙かに勝り且つ異句數に於ては、一茶の八十三句は、子規の九十五句には叶はぬけれども、蕪村の六十九句、芭蕉の六十七、虛子の三十六句、鳴雪の二十七句よりは甚だしく多いのを見る、政に、延句數と異句數との兩方面より觀察する時には、一茶の句は最も歡迎せられてゐるといへる、換言すれば一茶の如き諧ぎやく味のある句は我國民性に最も投ずるのであるから、この見地よりしても、わが日本精神の一特色として諧ぎやく性も重視せねばならぬ。

この點について、井上哲次郎博士はその著『日本精神の本質』に於て、

漢詩は何處にあるか『唐詩選』『三體詩』『千家詩』などの中には一首も見出し得ない、俳句は何んでもないやうで、なかなか日本の民族性を余程よく現はしてをるといつてよい、概して之を云へば日本民族は如何なる艱難辛苦の場合でも簡單に之を樂觀し去るだけの精神力を有してゐる、俳句はさういふ情を云ひ表はした文學としてなか〳〵味がある、その思ひ切りのよいところ、その積極的の態度、そこに長所があると論じてゐる。

文學方面について云へば悲哀の文學もないことはないが、全體として陽性樂觀の文學が遙かに優勢を占めてゐる、殊に江戸時代に發達した平民文學では先づ俳句を推すが、俳句はなか〳〵特色がある、大部分は僅か五七五の十七字で感興を述べたものであるが、多くは所謂俳味を帶びて、陽性樂觀の性質が勝つてゐる、例へば『手をついて歌申上ぐる蛙かな』などといふものは、余程諧ぎやく氣味がある、之を漢詩に較べると大分違ふ、漢詩の方には、沈痛悲壯の調や慷慨悲憤の句が種々あるが俳味を帶びたやうな漢詩は容易に見出し得ない、諧ぎやくの氣分のあ

食糧政策に就て

歐洲戰と供給配給の圓滑

東京　農林省

（四）

この命令は四月二十六日に二リツトル以上の米、碎米又は米粉を所有する者にその品名、數量、及び氏名を中央購買會社に申告することを命じたものである。

申告者は會社から要求があれば賣却しなくてはならない。賣却の要求は申告後一週間以内に發せられるが要求を受けた時は、その物品は差押へを受けたのと同樣な拘束を受け、占有者はその物について何等の變更を加へることができない、また保管についても注意すべき義務を課せられた。

これより先き、一九一四年には穀物と穀粉の現在高調査をなし、翌一五年には製パン原料の差押へと專賣を斷行し同年六月には同年の新收穫期までに消費する量を除き他は全部收穫すると同時に政府へ提出させた

消費の方面については製粉歩合を（現在ブラジルでは行つてゐる如く）制限した上、一日の消費量を節約させ、他方切符制度によつて節約の徹底を期した。

かやうにドイツは生産、消費の兩方面に色々の對策を講じたのであるが、戰が長引くに伴つて食糧不足は益々深刻化し、その配給は僅かに饑餓をしのぐ程度に過ぎなかつた、しかしドイツは、あの國民精神特にあの熱烈な愛國の精神から不平一つ漏らさず金持ちも貧乏人も、平等公平に配給を受け苦痛を忍んだのであるこれは配給組織が完備してゐたせいでもあるが、大戰末期に至るまで食料の欠乏に屈服しなかつたのはドイツ國民精神の偉大さを示すものである。

聯合國の爲め國內を統制

アメリカは食糧品の非常に豐富な國で、戰前歐洲諸國へ食糧品を輸出し、ヨーロツパの穀倉といはれた國であるから、參戰しても自分の國で食糧に困るやうなことはなかつた。しかし、聯合國を勝利に導くには、これに食糧を供給する必要があり、このために米國は如何なる犧牲を拂つても食糧を供給するといふ決意をしたのである。消費の方面では、あれだけ食糧の豐富な國でありながら、できるだけ食糧を節約するやうに指導した。また街には名譽食堂、少年少女自由食糧クラブ等が出來、代用食の研究が行はれ、混用食を自發的に勵行されて相當の効果を擧げたのである。

○——○

食糧問題の中樞機關となつたのは食糧管理局であつて、同局は參戰直後に發布された『食糧管理法』と『食糧調査法』の運用の衝に當つた『食糧管理法』は一價格の驟貴と供給を制限する目的として食糧を故意に減損、浪費し、又は獨占することを禁じ、二、食糧の配給に關する免許權を大統領に賦與し、三、死藏品を差押へ、販賣の權を與へた法律であつて『食糧調査法』は、この管理法の實施に必要な調査について規定した法律である。

この兩法は『間接取締法』と相俟つて、アメリカの戰時經濟に非常な貢獻をし多大の効果をあげた。（をはり）

ドイツ軍の侵入と佛の自給自足

ドイツが小麥の三割三分を外國からの輸入に仰いでゐたのと異つて、フランスは大戰前には食糧は殆んど自給自足してゐた、從つて食糧不足の恐れはなさそうだつたが、戰が進むにつれ勞働不足が生じて來た上に小麥のできる地方をドイツ軍に占領され、一方軍需が增加した、め遂に自給自足の經濟は破れざるを得なくなつた。

そこで政府で食糧品の輸出を禁止すると共に輸入稅を撤廢して補給に努めたが供給不足はまた〳〵甚だしく買占め、寶惜み等の現象が現はれて來た、こゝに於て小麥、ライ麥、馬鈴薯など次ぎ〳〵と最高價を定め必要に應じてその最高價格で生產者、商人等から食糧品の徵發をなし得ること、した、生產の增加を計るためには農業委員會を設けると共に、各町村の農事委員會に肥料種子等の購入に當らせた、また勞力の不足を補ふためには捕虜の使役、應召軍人の歸省、婦人子供の動員等の外移民を歡迎して耕作に當らせた。

○——○

配給の方面では消費組合が設立されて目ざましい活動を續け、特にパンは原料を直接生產國から購入して仲介者の手を經ず消費者に供給し、その規模が非常に大きかつたので、一般の商人より遙かに安いパンを供給することが出來た。小麥の價格は暴騰したにもかかはらずツールーズの組合などは遂にパンの値上をしなかつたほどである。フランスの食糧政策の特長は公設市場の設定を奬勵したことであつて、公設市場が一般商人をリードして、食糧品の投機取引を抑壓したのであつた。

謹賀新年
アラードカルビデーラカロツサ
其他農具一切
青山兄弟工場
アラサツーバ市
郵函二〇八

謹賀新年
野村工務所
マリヽヤ市

Federação Industrial do Japão
EDIFICIO BANCO DE SÃO PAULO
Caixa Postal, 4058 Tel. 3-2243
皇紀二千六百年元旦
サンパウロ
貿易斡旋所
聖市　サンパウロ銀行ビル十三階
電話　三一二二四三
郵函　四〇五八

謹賀新年
間崎之雄
ブロミツソン市

謹賀新年
新年を前に擴張しました
製作修繕等に迅速一寧
馬具
靴
其他
森園兄弟靴店
本店　グワララベス市
支店　バルバライゾ市

謹賀新年
一月元旦
甲斐耕地
甲斐喜次郎
ペンナポリス驛

謹賀新年
「馬具、靴其他一切
製作、修繕に應じます
野兄弟製作所
アラサツーバ市
マレシヤル　テオドロ一一五
郵函　二〇八

謹賀新年
松原宗親
ベーラクルース市

謹賀新年
汎ベラクルース
日本人會
ヴエラクルース

Soc. das Reunidas Tinturarias Japonezas de SÃO PAULO
謹賀新年
聖市日本人洗染同業組合

謹賀新年
小間物化粧品部
新里理髮店
新里次郎
アラサツーバ市　郵函二〇八

謹賀新年
桐木雜貨商
桐木乙十
アラサツーバ市

謹賀新年
（食堂）食道樂
竹內喬
ベラクルース市

謹賀新年
庭木及盆栽花苗類
確實なるもの安價販賣す
原理
果樹苗木生產場
米森一郎
アラサツーバ市
郵函二〇八

謹賀新年
東山銀行
サントス本店（郵函九一一號）
サンパウロ支店（郵函五二八號）
リンス支店（郵函一一號）
マリヽヤ支店（郵函七四號）

謹賀新年
東山農場
カンピナス農場（郵函五九號）
ピングモニヤンガーバ農場（郵函一〇號）

謹賀新年
東山工業部
酒造工場（郵函〇五一九號　カンピナス）
絹織工場（郵函四二九六號　サンパウロ）
絹織物販賣店（リベロ・パダロ街一三〇　サンパウロ）

謹賀新年
カーザ東山
サントス事務所（郵函九一一號）
サンパウロ事務所（郵函五二八號）
リオ・デ・ジヤネイロ事務所（郵函三三四二號）
リンス事務所（郵函一一號）
マリヽヤ事務所（郵函七四號）
ブロミツソン事務所（郵函一六號）
アルヴアレス・マツシヤード精選所（郵函一號）
グワランタン精選所（郵函六五號）

けふこのごろ

南舟生

▽……△

古人は身を捨て、こゝを浮ぶ瀬もあれ、と訓へたが、そのことばを、けふこのごろの私はしみ〴〵と味はつてみた。南米新報に對する密告云々、それから新聞再認可の件等々まだ等々、さあお前んとこは今にフエツシヤさせられるぞ！　今に日伯新聞と同じやうな運命になるぞ！曰く何曰く何々と隨分不愉快な、そしてシヤクの種子か多かつた。

▽……△

併し、靜かに神前に端座して心平なれば自ら吾が耳にさゝやくことばは此の古人の訓、いつも捨て身になることである、その間の消息を大西郷は說いて『いのちもいらず名もいらず官位も金もいらぬ人は始末に困るものなり、この始末に困るものにあらざれば……』と勿論私如き凡くらは、以つて天下の大事語るべからずではあるが、さりとて凡は凡ながら生れて五十年、何んだか今更の如く古人の遺訓がありがたく身に泌みる

▽……△

まつたく、形や物慾に心を奪はれて居る間は地獄だ、併し、はだかで生れたからはだかで死ぬのだ、だから何時でも眞ツぱだかになることだと思ふ。欲しい奴には臭れてやれ身も心もサバ〳〵して極樂往生疑ひ無しだ、そこで、まゝ面倒臭い浮世三分五厘、身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もありか。

▽……△

ああでもいけん、かうでもいけん、笑つても泣いてもいけない無論文句は一切垂れるべからず、くしやみ一つにも遠慮すべし、と云ふのがけふこのごろの有樣、そうですか、では、どうなりと勝手にしやがれ……と云ひ度いところ、即ちけふこのごろの心境は是れ。

BANCO DO BRASIL

112 — RUA ALVARES PENTEADO — 112 — SÃO PAULO

MATRIZ: — R. 1º de Março, 66 - RIO DE JANEIRO. Agencias em todas as Capitaes dos Estados e principaes praças do paiz. Correspondentes nas principaes praças do Paiz e Exterior.
AGENCIAS LOCALIZADAS NA RÊDE FERROVIARIA DE SÃO PAULO: — Araguary - Araraquara - Barretos - Baurú - Bebedouro - Botucatú - Campinas - Campo Grande - Catanduva - Chavantes - Corumbá - Franca - Goyania - Guaxupé - Jacarézinho - Jahú - Lins - Piracicaba - Ponta Grossa - Pres. Prudente - Ribeirão Preto - Rio Preto - Santos - São João da Boa Vista - Taubaté - Uberaba - Uberlandia - Varginha

取立、預金、貸出、爲替保管其他一般銀行業務

●預金の種類と利子

ポプラール（十コント迄）		年四歩
リミタード（五十コント迄）		三歩
コン・ジユロス（制限無し）		二歩
定期預金	六ケ月	四歩
仝	十二ケ月	五歩
豫告預金	三十日	三歩五厘
仝	六十日	四歩
仝	九十日	四歩五厘
毎月利子勘定定期預金		
	六ケ月	三歩五厘
	一ケ年	四歩五厘

◉農、工業者への金融

農業へは收穫、その加工施設、牧畜家へは家畜の改良、工業家へは其設備の擴張或は材料の購入等の爲めに要する資金を融通す、其他農業借款整理の爲め擔保附手形を以て金融の求めに應ず

ブラジル銀行

（賀）（正）
和田周一郎
ミランドポリス

（賀）（正）
笠原勝德
アラサツーバ

（賀）（正）
橋八郎
プロミツソン

（賀）（正）
秋永忠治
アラサツーバ

（賀）（正）
金原久藏
バウルー

賀正
朝日勇次郎
バストス市
郵函一四七

賀正
森部洋服店
親切叮嚀
バストス市

（賀）（正）
石戸次夫
ウベルランヂア

（賀）（正）
南谷源八
サントス

（賀）（正）
坂手磯雄

眼專門（三九）

DR. DURVAL LIVRAMENTO PRADO

眼の病氣なら何でも診療します元リオのモウラ・ブラジルの助手

●診療所サントス市ルア・ワスコンセーロス・タバレス三一（二階十二、十三、十四號室）電話五五五九

●時間朝九時より十一時、午后は三時より五時半、土曜日は九時から十一時まで

●自宅サントス市アベニーダ・バルトロメウ・グズモン六四電話二四五四

謹賀新年

賀正
ソロ線サンタクルス　今澤儀一郎
ドリオパルド驛　今澤三郎
今澤道太郎
今田俊夫
植中弘士
瀨戸林
聖市郊外
今澤藤三郎

賀正
青木商店
バストス市
郵函九三

賀正
宮本勇
フアゼンダ スイーサ
バストス郵便局

公認　日伯裁縫女學校
公認　葡語小學校

R. Galvão Bueno, 362 - Tel. 7-7710 - S. PAULO

謹賀新年

生徒募集

一、洋裁專修部　速成科、普通科、特別科
一、女學部　小學部
一、葡語專修部　學力試驗の上希望學年に編入す
一、隨意科　生花、手藝、製帽
一、授業開始　一月八日
一、入學　各部共隨時申込受付

……寄宿舍の設備あり
高層閑靜……
（寫眞は中西武官を迎へて）

（賀）（正）
アチコ合組業產

RUA CARDEAL ARCOVERDE, 2539 - S. PAULO
TELEPHONES: 8-2191.....8-2192.....8-2193

販賣部
蔬菜部
リオ・デ・ジヤネイロ販賣所
サントス販賣所
サンタローザ倉庫
モヂー・ダス・クルーゼス倉庫
ヴアルゼングランデ倉庫
スザノ倉庫
ジヤカレイー倉庫
カンピーナス倉庫

購買部
醫療部
食堂部
運輸部

信用部
利用部

謹賀新年

ソロ線サンタクルス　今澤儀一郎
ドリオパルド驛　今澤三郎
今澤道太郎
今田俊夫
植中弘士
瀨戸林
聖市郊外
今澤藤三郎

謹賀新年

SOCIEDADE COLONIZADORA DO BRASIL Ltda.

VENDEM-SE LOTES
CINCO PRESTAÇÕES ANNUAES

BASTOS — Est. RANCHARIA — L. Sorocabana
TIETÊ ALLIANÇA — Estação LUSSANVIRA — L. Noroeste
TRES BARRAS — Estação JATAHY — L. S. P.-Paraná

Séde: PRAÇA DA SÉ, 81 - S. PAULO - C. P., 2975 - Phones: 2-3121 e 2-3122 - End. Telg.: "IJURENGO"

EXPORTAÇÃO E IMPORTAÇÃO
Casa Bratac LTDA.
CONSTRUCÇÕES EM GERAL E ELECTRICIDADE
Cx. Postal, 2-X — Phone 2-1145 — Endereço Telegr. "BRTAC" — SÃO PAULO
SUCCURSAES: Santos - Rio de Janeiro - Porto Alegro - Bello Horizonte - Tokio - Osaka

C. CORRENTE AO ANNO 4%
Casa Bancaria Bratac
PRAZO FIXO AO ANNO 6%
Cx. Postal, 555 — Phone 2-1420 — Endereço Telegr. "GINKO" — SÃO PAULO
Filiaes: Marilia — Araçatuba — Ourinhos — Promissão — Presidente Prudente — Bauru — Rancharia — Paraguassu — Bastos — Tietê

CAIXA POSTAL, 2975
Phones: 3-2918 e 3-2941
Algodoeira Bratac Ltda.
ENDEREÇO TELEGRAPHICO: "HAKUMEN" - S. PAULO

謹賀新年

皇紀二千六百年元旦

長森聖榮堂

本舗　富山市堀端町
支店　布哇ホノルル　郵函一二九九
支店　サンパウロ市　郵函四一二八
店主　長森信雄

●尙今年も相變らず御引立の程御願ひ致します

新學期生徒募集（一月十一日）

洋裁專修部
▽師範科　八ケ月（男子服、女子服、子供服並葡語）
▽速成科　三ケ月（婦人服、子供服一般）
▽普通科　六ケ月（婦人服、子供服一般）
▽技藝專修部期間定めず
ミシン刺しゆう、造花、油繪、製帽、生花、其の他高級美術品

◆女學部
尋一より高女迄の主要なる學科

◆葡語部
伯國小學校令に依るグルツポと同資格並中學入學準備科

◆特別部
男子服一般專修科　六ケ月（男女を問はず、アルフワイヤツテ）

各科共晝夜有り、閑靜なる寄宿舍で勉學に好適

公認　信愛女子洋裁技藝學校

賀正
指導校長　笠原正太郎
聖市　タマンダレー一五七
Rua Tamandaré, 157

賀正
バール製菓所
浦崎商店
バストス市

賀正
森一人
バストス市

謹賀新年
神崎昌太
BRAZCOT LIMITADA
CAIXA POSTAL, 3603 - S. PAULO

謹賀新年
原田立之祐
大阪日伯棉花株式會社

謹賀新年

日伯產業會社
土地部、保險部、商事部
聖市オンゼ・デ・アゴスト街三〇二番
郵函三三二九——電話二一九三八九

ピリアニツト土地事務所
サンパウロ・パラナ線ピリアニツト驛

王様

下男になつた

◇――◇

その日、イワン王様の方のぐんぜいは、はた色がわるく、戰ひをして居るにざかひからたいきやくせなければならないことになりました。

王様はアルメニ將軍やグラジオ將軍たちと、あとまで居のこつていくさに勝つやうなはかりごとをめぐらしておいでになりました。しかしもう日も暮れかゝつてまゐりましたので、安全な場所までひき上げられる事になりました。

一番しんがりになられた王様は、しきりとはかりごとをねりながら、馬をすゝめておいでになりました。

『やつ、しまつた。道に迷つた』と、王様がひよいと首を上げられた時には、將軍たちの影も形もありません。谷間からわき上つて來た夕もやは、細い山道をこめて、王様があせられ、ばあせる程、馬はへんな方向にすゝんで、もうそれと氣づいた時は敵方のとなり國の町近くまで、お出でになつていらつしやいました。

『ともかくもこんな風では目立つから』と王様は金びかの肩章やら〳〵するたくさんのくんしよう等はすつかりはづされ、湖水のそばをお通りになつた時、ポチヤンと水底深く沈められました。

『それにしても困つたな』とお思ひになりながら、だん〳〵お出になると、町はづれの公園のベンチで、一人いこひきが、汚ない毛布にくるまつて寢こゐました。すると丁度町角の大きな家の入口に『下男入用』とはり紙がしてあるのが目につきました。

『おゝ、さうだ、下男になられやう』と王様は、大よろこびで其家に入つて行かれました。そこは人を使ふのがひどくて有名なホテルで、きのふ下男に逃げられたので、廣告を出しておいたのでありました。

『どうぞ私を使つて下さい』と王様は、腰をひくゝしてたのみました。すると電信柱の様にひよろ高い主人とビヤだるの様に太つちよのおかみさんが、じろ〳〵見て居ましたが、

『お前さんは下男――したことがありますかい』とき、ました

『い、え、ありません』

『それぢや、きゆう金は仕事が上手に出來たらやる事にしやうそれでもい、か』

『へいよろしうございます』

『さうして王様は下男になられました、いたい程かたいカルサやサバトをはいて朝の暗い中から夜ふけまで棒の様におひつかはれて居ました。

『ほんとに今度の下男は、あんぼんたんだよ、何をさせたつてうまい事出來あしない、今朝はパンをまつくろこげにしてしまうし、さうちをしたと云つたつて、ひどいごみだらけだし』

おかみさんは、ブリ〳〵叱言を云つて居ました、それだから、もちろんきゆう金等はくれません、けれども王様は、馬を買つたお金をもつて居られたので、お小づかひに困る様な事もありませんでした。

『おい〳〵あんぼんたん今日はえんとつのさうぢだよ氣をつけてやんなさい』

と、名前をあんぼんたんにして、主人はしかめつ面をして云ひつけました。

『はい〳〵』

王様はさつそく、煙突の中に掃除ブラッシュをつゝこみましたが、何と云つても馴れないものですから、頭からすすを一ぱいかぶつてクロンボの様になつてしまひました、そして『ハックションヨン、ハックションヨン』とくしやみばかり、つゞけざまにして居られました、丁度其時、このホテルにも役人がとりしらべに來てゐました、それは此町に隣國の王様がまぎれ込んで居ると云ふので、あやしいものはかたつぱしからつれて行くのです。

『へいあの下男はけつして王様などではありません』

とても大へんなあんぼんたんでして、何一つうまい仕事は出來ないしろものなんです』

と、おかみさんはそんな事を云ひ〳〵このへやに入つて來ました。

『ハックション』

そこはくしやみの黒いしぶきが、あとから來た役人の顏に一ぱいかゝりました。

『へい、この通りのあんぼんたんで、何とも申わけありません』

おかみさんは、そこにあつた箒木を取つて、王様のせなかを火の出る様にぶんなぐりました。

役人は大へんふきげんな顏をして、くしやみをかゝた此のクロンボの様な下男をちらと見ただけで出て行きました。

◇――◇

それからしばらくして、王様が道をまよつた日、將軍たちとねつたばかりごとがうまく圖にあたつて、戰にかち、王様の居られる此せいよくはいつて來ました丁度アルメニ將軍とグラジオ將軍が、勇ましい姿を此のホテルの前に表はした時でした。

『アルメニ、グラジオあひたかつたぞ』

下男の様子をされた王様が、とび出して行つて將軍の馬のくつわにつかまりました。

『おゝ、あなたはイワン王様』

『はんとうに王様――まあよく御ぶじで』

二人の將軍は大聲をあげたり涙をこぼしたりして喜びました。

『王様ばんざい』

たくさんのへいたいは、町もわれる様に叫びました。

おかみさんは、人の色もなくがた〳〵ふるへました。

『どうぞお許し下さい、命ばかりはお助け下さい』

『何もそんなに心ぱいせずともよい、私が今日まで生きて居られたのは、お前だからすのおかげなのだ、後ほどしつかりほうびをとらすであらう』

と王様は、にこ〳〵しながら申されました。

きたないカルサやサバトをはいて下男のかつかうをした王様が、さつそうと立派な白馬にまたがり、いかめしい將軍たちにまもられて行つた後姿を、主人もおかみさんもポカンと口をあけたまゝ、何時までも〳〵見送つて居ました。

記者の雜記帳

○

ナタールの五千コントスロテリヤは二三四八一番で市内ではカピタリタとして知られたジョゼー・ピントン氏に落ちたと云ふので、同氏邸前は物珍らしがり家の野次馬で、時ならぬ賑ひを呈してゐるが、同家では屈強な男を門番に置く外猛犬數匹を以て嚴重に警戒して居る、金持ちになると云ふ事もなか〳〵苦勞である。

○

同じくナタールのソルデグラデの中第三等の二百コントスは第一〇〇二八番で市内カーザ東山經營の絹絲工場バウリセイアの從業員百〇一名に當つて、勿論この内には同胞も數名混つてゐるが、之れなんか福の神様は善いあんばいに御計らひドさつたものだ、大金持がソルテグランデを獨占した日には我々貧乏人は永久に浮ばれない、正直者の頭に神宿る――額に汗して正直に働いてゐる前記百一名の勞働者にソルテが行つたと云ふのは蓋し當然。

○

モンテビデオ沖で自爆の後潔く自殺したドイツ豆戰艦々長は本當にエライもんだ……と云へば海軍々人ともあらうものが海で死なゝいで、おめ〳〵陸に上つて自殺するのは卑怯だと言つて反對する人もあるが、海で死なふと陸で死なふと、そんな事は問題でないと思ふ祖國の爲めに殉するその忠誠こそ外國の人ながら如何にも尊いではないか、我が編輯室からは、あの日取敢ず聖市ドイツ總領事館へお悔みを申上て置いた、感激のあまり……。

○

十二月廿六日朝五時、ソロカバナ線コチア驛を距る四百米の地点で客車と貨車衝突即死一名、負傷者十名を出した、ソロ線としては近頃稀有の出來事。

○

若間色々取沙汰されてゐた日本病院の原口事務長は愈々辭職して近く歸朝、その後任に福川薩然氏久應務部主任村山氏の後に海興の村井氏が就任すると、何れもマジメな仁ばかりの事とて好評、我々は大に期待する

○

アルゼンチナ丸で來伯した沖縄縣海外協會幹事の桑田規巨夫氏は球陽協會々長屋比久孟德氏の案内で廿七日本社へ來訪され、同氏は南米州地帶を振り出しに主として沖縄縣人集團地方を一巡視察を兼ねて慰問される由であるが、最近祖國の對伯移民熱の冷却に就て次の如く語つた。

今日では海外移民と云へば滿支大陸移民問題が最高潮に達して居るので一般國民の關心からブラジルは遠つて居る、それに比頃では十八歳以上の構成家族でなければ渡伯を許されない、十八歳以上と云へば國家の干城として召集される者が多いので渡伯者の家族構成は至難とされてゐる。

在伯邦人の將來も今次の事變が片づき歐洲が平和になれば、日本の國際的地位は自ら變つて來るに相違ない、祖國の國際的地位がよくなれば、それに連れて海外に在る邦人の位置もよくなるだらうと將來を樂觀してゐた。

謹賀新年
ブリキ家具商
吉田治富衛
バストス市
郵函三九〇

謹賀新年
蚕絲業組合
製絲工場
バストス市

謹賀新年
バール
田中勝治
バストス市

謹賀新年
長谷川商店
バストス市

謹賀新年
佐藤喜作
バストス市

謹賀正
吉井商店
バストス市

謹賀正
バール・運搬業
フキノ商店
バストス市

昭和十五年一月元旦
明けましてお目度う御座います
バウル裁縫女學園
多賀時造
橋本俊次
仝澄子
バウル市キンゼ デ ノヴエンブロ九ノ八
電話 六五四

謹賀新年
ホテル都
館主西田盛
聖市イルマン シンプリシアナ一五
電話 二一七四二五

謹賀新年
手塚法律事務所
聖市フラツサ・ダ・セ四六 三階三〇七號室
電話 三一四六四〇
郵函 六三八

謹賀新年
精棉賣買
一般商事
金融
ブラス
コツト社
BRAZCOT Ltda.
RUA BOA VISTA, 116 - SÃO PAULO

Dr. Mario Bueno Salles
Cirurgião Dentista
(Pela Universidade de S. Paulo)
謹賀新年
政岡歯科院
政岡福美
アラサツーバ市
ゼネラル オゾリヨ八九

謹賀新年
日本藥局
島袋源榮
バウル市アルフレド ルイズ街二一四七
電話 五八九

明けまして御目出度う
何時も氣持ちのよい
皆様の
バール先原
バウル驛通り

謹賀新年
萩原商店
萩原仁平次
アグードス

謹賀新年
バウルー商工組合
(イロハ順)
バールキング 伊集院兼哲
カフエ仲買商 芳賀仁吉
内外雜貨店並ニ旅館部 富田光
旅館 沖山心平
農具農藥肥料 加來曹一
ミシン代理店 笠井貞藏
グワラナ キング製造元 金原久藏
電氣工業 高橋源吉
醤油醸造元 竹田清一
内外雜貨商 土田榮四郎
旅館 國井五郎
内外雜貨商 小林武集
仝 澤尾磯七
旅館

謹賀新年
水本法律事務所
水本光任
市内オンゼ デ アゴスト街二八八
電話 三一一〇九〇
郵函 三九六二

謹賀新年
カーザ東山
リンス
從業員一同
リンス市

謹賀新年
第二モンソン
富士青年團
アグードス驛 郵函二六

謹賀新年
在バウル帝國領事館
バウル市

謹賀新年
相馬法律事務所
フエリツペ デ オリベイラ二一
電話 二一七六〇九

英佛の石油政策

源資の岸洋西大の存依東近

左は近刊バリーのレ・ターン誌に掲載された英佛の國防と石油政策を検討する英佛の國防と石油政策である。

△

現下石油の問題が國防上如何に重要であるかは今更事新しく論ずるまでもないが、茲に英佛の採りつゝある國防と石油政策を検討すれば次の如くである。

第一次世界大戰後フランスの石油消費量は絶へず増加した、一九一七年には百萬トンと算定したが今日フランス市場へ吸收する高は一年四百五十萬トン、外に在港船舶への供給百二十萬トンを要する。

各種石油中ガソリンの消費量も多く二百五十萬トンに達す、これに次ぐはガスオイルで、これは輕デイゼル機關内燃機關等に常時使用される燃料油である。

△

戰時必要の推算ば平時に對し三乃至四とされてゐる最も優秀な専門家例へばシヤル・ベルトロー氏などは交戰期間に於けるフランスの年消費量を一千二百萬乃至千五百萬トンと推算してゐる、元の墺國の學者ポリテーも亦その意義深い著述『全体主義經濟論』に於てこう云ふ結論に達してゐる

茲に一つの大國があるとする、その國の首都は四百萬の人口を有し、外に國内に人口四十萬以上の大都市が十個あり、一千キロにわたる前線地帶を防衛するには年三千萬トンから四千萬トンの石油を必要とする

更に又セリニー將軍の意見に從へば戰時下に於ける歐洲諸國は全体で一ケ年六千萬トンから七千萬トンまで消費するであらう。

△

そこでフランスの狀況を見るに、不幸にして自國領土の生産は消費に對して云ふに足らざる高である、併しイギリスの立場に酷似しおそまき乍ら其の例に習はんとしてゐる、イギリスはもとより自國領土内の石油生産は不足してゐるが、遂にフランスもそれに追隨して遂に、世界生産の豐富なる配分を確保し得るに至つたのである。

フランスは特に[illegible]ク國に力を注いだ、そこでは一九三四年以來生産が益々豐富になつたので、總輸入中イラク石油の割合は一九三四年の四分五厘三毛から、一躍して一九三五年には三割八分三厘、一九三六年には四割二分二厘九毛に上り一九三七年イラクからの供給は三百萬トンを超えるに至つた。

併し右は戰前の事であるが大戰勃發したる今日地中海の自由を奪はれんとして居るので、供給地域を他に求める必要に迫られてゐる即ち新大陸である、今一九三六年に於ける新舊兩大陸の石油輸出額を見るに、新大陸は四千三百萬トン、舊大陸は二千八百萬トンである、アメリカ大陸四千三百萬トンの内譯は次の如し

ヴエネヅエラ	二千一百萬噸
米國	一千二百五十萬噸
メキシコ	三百萬噸
トリニダット	百五十萬噸
コロンビア	三百萬噸
ペル及エクアドル	二百萬噸
舊大陸の輸出内譯次の如し	
ソ聯	八百萬噸
ルマニヤ	七百萬噸
イラン	六百萬噸
蘭領インド	四百五十萬噸

而して採油總額は新大陸一億九千四百萬トン、舊大陸五千七百萬トンである。

之れを生産高別に見れば

米國	一億七千五十萬噸
ソ聯	三千万噸
ヴエネヅエラ	二千八百万噸
イラン	一千万噸
蘭領インド	七百三十万噸
ルマニヤ	六百八十万噸
メキシコ	五百五十万噸
イラク	四百三十万噸

の順序となる。

近年著しい發展のヴエネヅエラ

主に英國へ供給

生産額で近年最も著しい發展をとげたのはヴエネヅエラである、一九二〇年には僅かに二百万トンの原油を出したに過ぎなかつたが一九二九年に既に二千万トンに上り、一九三八年には二千八百万トンとなつた。

同國に於ける鑛區は二つの地帶に分れる、その一はマラカイボ湖地方にある舊地區、その二はオレノック鑛區である、この外グイアナ地方にもあるが未だ探鑛時代に屬する。

ヴエネヅエラの生産は今や四千万トンに達せんとしてゐる、そして五分の四はキユラサウとアルーバの精油所で製造され、殘り五分の一が原油のまゝ輸出されてゐる、キユラサウでは一ケ年一千万トンを精製し主としてイギリスへ供給する

斯かるストックが今次歐洲戰に際し、歐洲空軍の爆擊航程外にあるのが最も有利な條件とされてゐる、加ふるにヴエネヅエラ品は品質優良で、キユラサウでは高度オクターシのガソリンを造ることが可能である。これは航空用として特に貴重であり、イギリス海軍と空軍とに重要な資材を供給する

幸に際して御座所近く陳列された靜岡縣下物産六十八点を御熱心に天覽あらせられ、産業御奬勵の聳き御思召しから、これを御買ひ上げ遊ばされた特にその中から非常時局に十二分活用し得る軍需眞田紐、水筒、塗料等の軍需品を初め、金屬マグネット等の生産原料等十五品目はこれを同縣に御下賜あらせられた、長くも陛下には事變以來生産擴充物資統制、消費節約廢品改修等刻下の問題に關しては特に大御心をたれさせられ御身の廻り品その他御料紙等の些細な点に至るまで深く御心にとめさせられ御節約遊ばされ、どんな物でも活用せしめられる聳き範を示させ給ふのであるが、此度の御下賜品に對しても再び之れを活用せしめられる深き思召によらせ給ふ由にて側近者一同はひたすら恐懼感激申上げて居る。

△

（昭和十四年八月廿三日）

獨ソ不可侵條約内容

一、兩締約國は單獨たると第三國と共同するとを問はず相互に不侵略を約す。

一、兩締約國のうち一國が第三國の侵略を受けた場合他の一國は如何なる方法によるも右侵略國を支援せざることを約す。

一、兩締約國は兩國の重大權益に關する諸問題につき相互に通報を行ひかつ協議を遂げることを約す。

一、兩締約國は直接たると間接たるとを問はず締約國の一國を敵對目標とする如何なる國家間の結合（ポツ・oupiug）にも參加せざることを約す。

一、兩締約國間に意見の相違を來した場合は專ら友好的商議乃至は仲裁委員によつてこれを解決す。

一、本條約の有効期限は十ケ年とし期限滿了の上は兩締約國が規定の廢棄通告を行はざる限り自動的に更に五ケ年間更新されるものとす。

一、本條約は調印と同時に即時効力を發生す。

倉敷科學研究所調査によれば日本の婦人農村の勞働力は世界一である。彼女等は管に勞働に孜々として倦まないばかりではなく、主人の良き相談對手であり、主婦であり、母性であり、勞働者でもある。實に日本の輝ける歴史上の、又現實の偉大なる存在である。倉敷研究所が岡山縣赤盤郡高

我農村婦人の勞働力

圍村で二十年に亘る調査によると、農繁期の彼女等一日平均勞働時間は田畑で十時間、家庭で六時間、しかし夜は子供の世話、幼兒の添乳である、日本人の普通の體格所有者一時の馬力は二三馬力、農村婦人の方がそれよりはるかに強いさうである、國民の中堅を作り育て、堅むるものこそ實に彼女等であると。

ガソリンを撤く日本自動車

左記數字は自動車一臺當りガソリン消費量を各國別に見たもので數字を見れば我國は斷然他國を壓してゐる。これは我國自動車中約八割が營業車で、空車運轉に浪費する量の如何に大きいか『流し禁止』も斯る意味で勵行すべし、特に遊覽費用に使用すること等は戰時下體制下の今日大いに愼まねばならぬと言はれてゐる。

一臺當りの消費量

日本	二、二四五ガロン
英吉利	七五四ガロン
獨逸	五二九　仝
佛蘭西	四八四　仝
伊太利	四八三　仝

△

大戰の余波と銀座街

大戰の余波は遠くユツポンにある外人商店にまで影響して、互ひに交戰國人の間にあつては、敵國人經營の店に入らなくなつたのである、ことに生粋のお國自慢をほこる、飲食店が甚だしく深刻な不景氣からつひに臨時休業の店も現はれる有樣、これは大戰が異郷ギンザに描くシヤツトアウト經濟戰……

現在銀座にある七百の飲食店中ドイツ人經營の店は銀座西六の二にあるテルス氏のビーヤ・ホール、同五の五のレストラント同五の一ウイリー・ミユラー氏のベーカリー、同五の三ローマイ、同六の一ボルケ氏のバー等で、計五つ、何れも外人相手の店であつたが、大戰が突發してからと云ふもの、目に見へて客が減少、けふ此頃では勃發前の半分にも滿たぬ日があると云ふことである。

ドイツ人經營の店に英佛人が少しも姿を見せぬのは勿論、英佛人經營の店にもドイツ人は全然近かはらず、銀座の交戰國間の店では、このころ火花を散らすボイコツト戰でこの影響から西六の一にあるドイツ人のバーは二、三日前から臨時休業を行つて居る。

如是我聞

歐洲戰勃發と輸送路

英佛は惱む

【沼津發】畏くも時局産業に深く大御心を注がせ給ふ天皇陛下には、此度沼津行

聖上御買上品御下賜

石油所要量の輸入を地中海地帶に余り多くを期待せぬを得策とすることに付て

イギリスは既に早くから考慮してゐた、故に現在までこの輸送路によるものは僅かに三分の一位で、その六割以上が大西洋を經て英本國へ入つて居る、一九三六年にはこの割合は六割三分であつた、故にイギリスは輸入の五割をイラクに仰ぐフランスよりも地中海に依存すること少しと云ひ得る、何れにしてもフランスも亦大西洋石油の獲得條件について、直ちに研究に着手したから大西洋岸に多くの要港を控へてゐるフランスとしては戰時對策の確立は容易であらう、その輸入ルート（ポツ・oupiug）の據点は敵國の空襲に對し余りによく曝露される本國よりは、寧ろフランス帝國の或る一点例へば、ダカルとか北アフリカの諸港灣とするべきであらう、又斯樣な植民地に於ける貯油港には、適切な防衛工作を必要とす

謹賀新年

スール、アメリカ　生命保險
スール、アメリカ　火災、海上、傷害保險
スール、アメリカ　貯蓄債券

代理人
遠藤八郎
遠藤眞人
棗田馨

"Sul America" Cía. Seguros de Vida
Rua Boa Vista, 175 — São Paulo
專用事務所
R. Irmã Simpliciana, 74 - S. Paulo
Tel. 2-5622 — C. Postal, 3911

謹賀新年

イー治療機發賣元
加藤商會
聖市オンゼ デ アゴスト街二八八
電話　二一八九五三
郵函　四二二〇

料亭
富美の家
市内タバチンゲーラ
電話　二一一七三一

一月元旦
大正七年開業
旅館末廣
館主　中山忠太郎
福岡縣海外協會サンパウロ支部
市内コンデ ド ビニヤール一八四
電話　二一五六三八

謹賀新年

バザールドラゴン
川野勝平
ルア ダス パルメイラス三七

謹賀新年

カーザ パルメイラス
石田八郎
本店　ルアダスパルメイラス四七ー五三
電話　五ー七八六六
支店　ルアコンソラソン二一〇六

春の勝戰祝

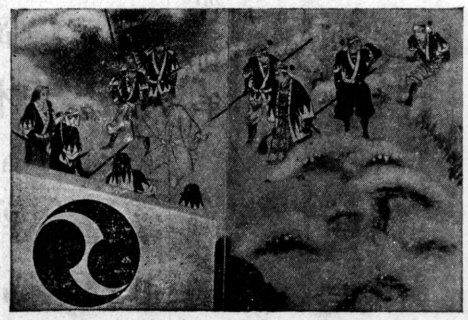
南米興行會資合社
創立紀念興行

豪華大忠臣藏

大役の人々
大河内傳次郎　長谷川一夫
黑川彌太郎　德川夢聲
勝見庸太郎　坂東蓑之助
山田五十鈴　入江たか子
霧立のぼる　原節子
澤村貞子　竹久千惠子
高峯秀子　花井蘭子

正月四日午後二時より三回
（午後二時——五時・六時——九時・九時——十二時マデ）
（入場料　畫四ミル、子供三ミル・夜五ミル、子供三ミル）
於パラマウント大劇場

うず卷く話題
新年を飾る最大の映畫!!
これまで、何回か『忠臣藏』が映畫され、當地でも上映されました。併しこれほど豪華壯麗な『忠臣藏』はありません
撮影の規模壯大、スター陣の豪華さ……
……是非この機會を逸せずに!!



正月二日午後六時ヨリ二回
○サントス市　主催野球倶樂部
三日午後八時ヨリ　リベロンピーレス町　主催野上商店
四日午後二時ヨリ　サンパウロ市
九日午後八時ヨリ　パラグアス町
十日午後八時ヨリ　ランシアリア町
十一日　バストス　主催本田正雄
十二日午後八時ヨリ　サンタアナ町
十三日午後九時ヨリ　ボンペイア町
十四日午後九時ヨリ　ベラクルース町
十五日午後九時ヨリ　ガルサ町
十七、八日兩夜　マリ・ア市　主催青年會
其後奥ソロカバナ線
常設舘上映の豫定

直輸入商
羽瀨商店
聖市イルマン
シンプリシアーナ一〇二
電話　二一一五七五
カンバラ支店
パラナ州カンバラ

謹賀新年
グワイサラ
商工組合
東山代理　西川喜諸
雜貨商　本田支店
仝　權藤商店
パール　富士見屋
仲買　佐藤由

新年と共に珍味を
待たれてゐる
三共釀造所
（醬油清酒味噌）
製造人　畑野宗太郎
同　阪本信夫
同　高田正夫
グワイサラ　郵函三

日本人の心と『いけばな』

中村道邦

○

私共が生活上、一番安價で容易く慰安を求められるものは『いけばな』ではないでせうか。

世界の人達から、日本の生花に對して興味を持つて見られてゐる、これは、確かに誇ることの出來る一つなのです。

花をみて美しいと思はぬ人もないでせう、花を挿さない國もないのですが、日本の生花は、他の國とは、まるで違つた道を歩いて來たのであります。

昔からの生花、只今の『いけばな』少しは違つた所もありますが、兎に角、日本の生花は、一つの藝術作品の樣に思はれます。

外國人からも、いつも感心して、ほめられますのは花の材料は、ほんの少々で立派に見えることや、草木の種類によつて、各々違つた、最も自然の感じの出ることです。

○

花の美しさは、一つの約束を持つた美しさでせう、その花を、どんなに活けても、どう挿してもよいなどと考へることは、決して正しいことではありません。

花は折られ、根から切り離され、ば、自然の生命を失ひます、枝の繁つてゐる方向も、花の陽に、向つてゐる表情も、一遍に破壞されるのであります、この自然から離れた容姿を、再び生かす——といふよりも、むしろ、もつと〳〵、自分と親しみのある美しさに活けるのが『いけばな』の精神であります。

○

今まで華道は上流社會の遊び事のやうに考へて居りましたが、只今では一般の方々がどこの家庭でも『いけばな』がなくては、何かの道具が一つ足りないやうな氣持になつてまゐりました、先づ玄關前、應接室、室間といふやうに花のあることが、私共には最もうれしい事でございます。

○

人間にも道がある樣に花にも一つの定められた道がございます、例へば夫は妻をいたはり、妻は夫をたすけ子は親をしたひ、親は子を思ふ、これと同じやうにいけばなも一家和合の形を表現する樣に思ひます。

先づ花を活けるには、その花型も第一條件なれど

花器と人と

三つのものが一體となつて一つの美を作りあげねばなりません、自分の精神もその時は花になつて——つまり自分が花になるのです。

本物でも、花ものでも、二つと同じ姿のものはないでせう、人間の顏と同じ樣に、いくらか似てゐる者はあつても、どこか異つてゐるものです、よく皆樣が、花を挿す時に、何と惡い枝でせう、いやな花でせうと云ひます、これは、人間と少しも、變りありません。

どんな偉人でも、長所ばかりではありません、短所もある筈です、又この人はと思ひましても、その人々によつて、よい所は澤山にございます、私共でも人樣のよい所ばかり求めれば、向上する事は容易であります、華もそれと同じやうに、技の屈曲や、花の方面をどうしたならば、最も完全にこの地上に再び生かすことが、出來るかと、すべてを忘れて、所謂三昧に這入るといふ境地になつてこそ、始めて、本當の『いけばな』が創作されるのであります

私の華に對する氣持は、おそらくさんな枝でも、どんな花でもよいのです。

自分を顧みて、昔は、好きな人、嫌ひな人といふやうに、そうした我儘がありましたが、現在では、およそきらひな人などは、どこにもございません、皆よい方々にみえる樣になりました、これもみな、自然の美しい花から得た賜物だと、感謝してゐます。

……（童話）……

山に千年

◇

樵夫の清吉は、あんまりくたびれたので斧を投出すと、どつこいしよと側にあつた大きな石に腰をおろしてタバコをのみ始めました

紫色の煙りの輪が、ぽかり〳〵と自分の口から出て行つて、一間ばかり向うへ行くと、すうと消えるのを見てゐる中に、何だか大きう愉快になつて來ました。

火種のために、吸殼を、掌の上にころがしてゐたのですが、何服目かの特大蹙熱く感じたので、何の氣もなく自分が腰かけてゐた石にはたきつけました。ところが驚いたの驚かないのつて

『おや！』

と、とんきようなこゑと共に三尺ばかりも、その石を飛び退いた位でした、それはきせるのがんくびが石に一度ふれたと思つたら

『リリリン』

とまるで金の鈴でも振るやうな、美しい音が出たちやありませんか。

『これア妙だ』

と、清吉は、再びきせるをはたきつけて見ました。すると又

『リリリン』

まあ何といふ美しい音だと——清吉は面白くなつてそつちこつちむやみやたらと、はたきつけました。

『リリリンラララローン』

と、天上の音樂もこれ程ではあるまいと思はれる調が湧いて來ます。

◇

清吉は、日の暮れるのも忘れて、聞き惚れてゐましたが、陽がとつぷりと西の山に入つてしまつたのを見ると、漸く立ち上りました

これから小屋に歸つて、夕飯の用意をして食べなければならない、あ、面倒だ、誰かがそつくり御馳走を持つて來てくれ、ばい、——等と虫のよい考へを起しながら、最後にもう一度石をたゝいて見ました、すると

『御馳走はお前の小屋にとどけた』

と鳴るぢやありませんか清吉は

『えつ！』

とびつくりして、大急ぎで歸つて見ると見事な御馳走の數々が、おいしさうな香を立て待つて居ました。

『不思議なことがあればあるものだ』

と思ひながらも、舌づゝみを打つてぺろりと食べてしまひました。

そして其夜の日清吉は、家の側に來ると

『へい昨日は御馳走樣、今日は面白い本を下さゝ』

と云つてたゝきました。

『よしよし、リリリン』

と鳴りましたので、歸つて來て見ると、ちやんと本が届けられてゐました。

◇

清吉は、樵夫の商賣等はもう止めにして、毎日欲しいものを貰ひに行つて暮しました。

お金は出來る、家は出來る、田地は出來る、清吉は何不自由ない大物侍になりました。

かうして大人しくしてゐればよいものを、清吉は不思議な正體を知りたいと考へ初めました。

『何か入つてゐるんだらう見たいな』

と、とう〳〵こらへきれなくなつた清吉は、或日一番大きな斧を持つて、石割りに出かけました。

◇

空には恐しい黑雲が、もく〳〵とわき上り、怪しい風がザワ〳〵と吹き渡りジラジラと地鳴りがして來ました、清吉は、そんな事には一向かまはず、石の側に來ると

『えつ』

と掛聲もろ共に、斧を打ち下しました、するといなびかりが、きらきらして大粒の雨がぽつ〳〵落ちて來ました。清吉は

『何を、敗けてたまるものか』

と、幾度も力まかせに打ち下してゐました、そして最後に

『ええつ！』

と力んだ一撃に、見事石は碎かれました、と其瞬間銀色に光る細い二尺ばかりの白蛇が、舞ひ下つて來た黑雲の中に、すつと消えました。

清吉は、夢心地に倒れてゐましたが、雲の上からは悲しさうな聲で

『あと一年で昇天が出來たのに、お前に見られたばかりに、九百九十九年の山の修業が無駄になつた』

と云ふ聲が聞えて來ました

清吉は、正氣付くと大急ぎで、家に歸つて來ましたが、家のあつた所は、何の跡形もなく草ぼうぼうの荒野となつて居ました。

（をはり）

風（かぜ）

○

風は目に見ることは出來ませんね、しかし竿のさきに付いた旗などの動きかたによく氣をつけてゐると風の有無やその强さ、弱さ、吹いてゐる方角などがよくわかります、風は冷だい方から暖かい方へ動いて出來るのだそうです、それで、ふつうには日中は風は海から陸に吹き夕方からはほんたいに陸から海に吹くのです。

○

皆樣、風のはたらきを考へたことがありますか？誰でも夏は涼しい風がすきですね、そして風は雨もこびます、花粉をもち歩いて實をむすばせます、帆船をうごかして風車をまわします、そのほか色々大切な役目をはたして居るわけですたくさん見出して下さい、そう〳〵此のせかいが草や木でおほわれてゐるのも一つは風の力で種子が散らされるからでせうね。

風ばかりでなく、くもも雨も木も草も、みんな我共の知らないふしぎなつとめをもつて私共の住んでゐる世界をこんなに都合よくもつてゐるのです、これはつくり主なる神樣の智慧と力でなくて何でせう？どうかもつと澤山の不思議を見付けて其の力をさんびしたいものです。

家庭講話

煎茶と梅干

昔から朝茶は身体によいと云はれます、これは心身を爽快にし、仕事のコンヂソンをよくする上に、朝茶の一杯はなか〳〵合理的ですが、更らに、これに梅干を加へた朝茶を毎朝喫する樣におすゝめします。

△

一個に二ばいの煎茶は、口中を殺菌し、口臭を去りその日一日病菌をうけ付けない有力な殺菌防腐劑ともなります、お茶には御承知の樣にヴァイタミン・シーが豐富にあるか梅干の酸で崩壞されるやうなことはありません、老齢の人に梅干朝茶を實行して居る人がなか〳〵多いが、これも効力を發揮して居る所以かと思はれます。

△

お茶はまた飲酒家によいと云はれて居ますが、これはお茶の中の酸、茶カテキン、ヴァイタミン等が作用して、酒毒を淨化し、心身に緊張と力をあたへるからで、醉ひ醒めには番茶がよい、この番茶に梅干を加へると合理的で、飲酒家は醉ひ醒めの水を珍重しますがむしろ番茶の方が藥物として効果があるわけです。

本年も何卒よろしく
御菓子工場
平田 青木 コンパニヤ
プロミツソン

GINASIO ORIENTAL
(Sob Inspeção Permanente)
R. Maria Figuereido, 85 a 123—Tel. 7-0867
End. Telegr. "ORIENTALOGO" —S. Paulo
日本人子弟の爲めに
充分便宜を計ります
●男子のために寄宿舍の設あり男女學生の半寄宿又は通學隨意
●中等科及初等科
あなたのお子さんの教育には？
ジナジオ・オリエンタールをお選びなさい、目下入學の好機です、最新の教授法と費用極めて低廉
●日本語教育無料

Guerra na China!!!
日本がハツキリ聽こえます!!
LOJA "PHILCO"
RUA CONSOLAÇÃO, 372 - TEL. 4-7744
(Perto ao Cine Odeon) Caixa Postal, 2148
此のラヂオ・フイルコで日支戰爭をお聞きなさい
●營業科目
ラヂオ、レコード
冷藏庫等地方の御註文に應じます
H. F. Leite de Assis Representante de Assumpção & Cia. Ltda. (制)

謹賀新年
ファルマシヤ
モデルナ
作田益太
リンス市ルイスガマ街

謹賀新年
様皆の
バール保坂
アラサツーバ
オスワルドクルス一一一

謹賀新年
前原旅館
プロミツソン驛前

謹賀新年
宮本耕地
耕主 宮本浩
プロミツソン

廣告
昭和十四年十二月二十六日より外來診療時間は院内設備が大體完成に至るまで當分の間
正午より午後四時まで受附
であります。右御知らせ致します。但し急患の場合は此限りではありません。
サンパウロ日本病院
電話 七—四九三四 七—七六四五

謹賀新年
前田耕地
耕主 前田兼作
プロミツソン

謹賀新年
仲買人
渡邊新太郎
ゴンザガ植民地區
プロミツソン

謹賀新年
御出墨の折は是非便利で親切な
ミツワ旅館（酒）
歸國手續、病院案内、職業案内等御世話致します
自慢の手打うどん、そば
簡易御料理
墨市タパチンゲーラ二三五
電話 二一三五一四
石尾貞雄
商易 ミツワ 旅館 食堂
靜岡縣人會指定旅館

謹賀新年
醫學士 今田求
リンス市

謹賀新年
吉田音作
グワランタン

謹賀新年
醬油釀造業
黑島伊平治
プロミツソン

謹賀新年
小松寫眞館
小松重
ソロ線ブ・ブルデンテ市
郵函 一〇九

謹賀新年
内外小間物、化粧品、製服出來合、其他一切
中村商店
中村源昌
ブ・ブルデンテ市
テネンテ ニコラウ マウエス街三七

今年も相變らず御引立の程
ミシン、時計、其他細かい機械修繕
今井時計店
プロミツソン

謹賀新年
一月元旦
高岡仁平耕地
タクアラ植民地區内
グワランタン驛

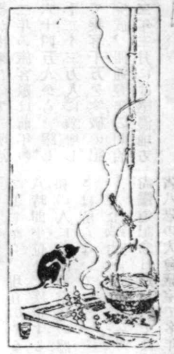
謹賀新年
岩田耕地
耕主 岩田歳一
サンタ・イザベル植民地管内
プロミツソン

謹賀新年
内外雜貨、農産物仲買並に運搬業
岡本兄弟商店
パストス市
電話 二一
郵函 四四

謹賀新年
整腹術 ほねつぎ うちみ
くぢき腰いたみ
東京講道館三段 天神眞揚流柔術
的野直吉
プロミツソン市

謹賀新年
一月元旦
カフエーマキナ
東山代理人
村上茂人
グワランタン

産婆
東京産婆學校卒業
何時にても出張に應じます
的野夕力



大雅と其妻

とうこく生

【前號の梗概】梶尾秋山らに連られ、德山の家とは方面違ひな紅ノ森に來たお百合は、二人の言葉に何か事情のあるらしい不審を感じたので同行を斷ると、秋山梶尾は交々にそれを遮り且つ暴力を以てお百合の行手を塞いだ。此時計らずも通り會はしたのは德山で、德山の出現に依つて彼等の虚計も曝露し、お百合も德山に救出されて、祇園の家に歸つた。一方、岡部は時が余り經つのを案じて來て見ると此體だから、この復讐をと二人を語らひ高野川の土堤に、德山の歸りを襲撃したが、德山が意外にも手强な劍手であるのに驚き何れも雲霞と逃げ出した。

△

『まあ、この邊でござりましたか……』

それから十年あまり過ぎた或春の一日、德山と思叶つて夫婦になつた百合は、今日しも二人の仲の愛娘町の手を引いて、あの十年前の活劇の行はれた高野川の邊を歩いてゐた。

『ハ、ハ、ハ、……恰度この柳の所まで來ると、後からバツサリやられたのだ』

『思ひ出してもゾツと致しますこと……』

『だが、身から出た錆とは云へ、あれが原因で到頭御役目御免となつた、あの三人は其後どうして居るかと氣の毒でならぬ』

『でも、あんな怖らしい御方達が居なくなつたことは、どんなに妾達の仕合せでござりませう……ホホ、ホ』

『ハ、ハ、ハ、……夫婦はかう云つて幸福さうに相顧みた。其時後方から急ぎ足に來かゝつた一人の若者は、德山達を見ると、づか〳〵と近づいて

『あ、よかつた、德山の旦那樣……江戸からタツタ今御客樣が御見えで、急に旦那に御目にかゝりたいと云つてゐます。スグ歸つて上げて下さい』

と早口に告げるのだつた。

『何……江戸から急用の客人……ハテ何事であらうナ』

『何んのことだか判りませんが、兎に角、急に御目にかゝりたいと云ふのです』

『ソーカ、それは兎に角御苦勞樣でござつた、デハ拙者は一足先へ戻るから其方はあとから金兵衛どのと、一緒にまいるがよい』

德山はかう妻に命じて踵を廻して行つた。德山が我家に歸りついた時、其處に彼の歸りをもどかし氣に待つて居たのは、意外にも母方の親戚の大野治兵衛だつたこの大野は先年德山の父が殘した折、當然跡目に直るべき彼が、家出同樣となつてゐるのを幸ひに、後添の母と謀つて義弟の市之進を跡目に直してしまつた其の人だつた。併し德山としては、それは固より自分の望むところだつたので、父の墓參のために其後蔭乍ら江戸迄下つたことは下つたが、遂ひに公然と我家へは一度も足踏しなかつた程であつた。それほど疎遠である大野が突然わざ〳〵尋ねて來た事は、德山に取つては、全く思ひがけぬところだつた。

『扨て邸之丞どの、某が今度突然貴殿を御尋ねしたことは、貴殿としても定めし意外なことでござらう、又某としても、今更貴殿の許にまゐるのは、いさゝか後めたい心地も致すのでござるが、それを押し切つて參つたのは、よく〳〵の事情のあること、先づ以て思召し願ひたいのだが……』

と斯う云つて大野は先づ口を切つた。

『イヤ、それはそれがしとても已がスキ好んで、御兩親の許を離れ、かうして浪々致し居る不幸の者左樣な御斟酌は決してござりませぬが、そのよく〳〵の御用と仰るのは一體何事でござります』

『それは家名斷絶のことでござる』

意外の一言に德山は面を變へた。

『家名斷絶……と仰せありますと』

『外ならぬ家名斷絶の大事故かうして推參した理由と云ふのは、先年德山殿死亡の砌は、貴殿が跡目たるべきの所を、貴殿の踪跡不明のために市之進にその跡を繼がしめましたが、實はその市之進奴が此の程急病にて殘くなりました爲め、未だ後繼とてなき彼の事とて忽ち家名斷絶と事定るに立至つたのでござる』

△

大野は、それから、自分達が邸之丞の家出を幸ひにしてよくも確めずに、市之進を跡目に直した經過と心情について、心から彼は懺悔の意を述べて、邸之丞に再び歸つて家督相續をしてくれと懇々として依頼するのだつた。德山も無く迄云はれるものを無下にも斷り切れなくなつた。そして假令ば、大野達は、過去に於いてはどんな意圖と感情を自分に對して持つて居たか判らぬとしても。現在斯く迄云はれる程の申出を承諾したのであつた。大野は喜んで先づ暫らくと止めるを待たず、直樣歸つて行つたのである。

△

『旦那樣、折角の御言に背いてはなりませぬが、妾は此儘こゝに殘さして頂きます』

新生の希望に滿ちた德山が今がた後から歸つて來た妻の百合に、一仔一什を語つて、相携へて江戸に下ることの喜悅を漏れた返答は、意外の意外であるこの一言であつた。

『ナ、ナント云やる……それは戯談であらう』

あまりのことに呆然とした德山は僅かにかう問ふのである。

『イエ戯談でも何でもござりませぬ、貴郎樣の御出世は心から御悅び申しまするが、それ故ことさらその御出世の妨げにならぬやう、妾はかう申上げるのでござります』

『どうして其方が出世の妨げとなると申するぢや』

『それは先年母が亡くなりまし折にもそれとなく申遺したことでございますし、妾も平素覺悟致して居りましたことでございます。貴郎の御身分が元通りにおなりなさつて、御家督御相續でもなされませば、妾のやうな身分賤しいものが御側に居りましては、御出世の妨げとなることは必定でございます、ヨシ又御側室として置いて下さつても、それが爲め家庭に風波が起きるやうでは、矢張御障げとなることでございませう。今更御側を離れることは、身を切るより辛いことでございまするがどうか妾ぢにはあの娘を下されまして、せめて娘町を貴郎の御片身と思ひて育て、行きたいと存じまする』

と男々しくも云ひ乍ら、流石に堪へ切れぬ悲しみとワツと許り其處へ泣き伏してしまふのだつた。德山は猶も言葉を盡くして種々に說き諭した。でも彼女の決心は遂に動かなかつたのである。

△

祇園の百合は又かうして世間の梶女の後をついで女流歌人百合となつて、都女の一人となつた。そしてその孤兒の町女（後の玉瀾）が年頃になつた時分、百合は彼女の爲めに佳き婿を獲ることを神かけて祈つて居た其頃、眞葛原双林寺の門前に、一人の青年畫家が路傍に書をひさいで住んで居た常に一錢の蓄もない程貧乏して居るけれども、一向それを苦にもせず、超然として畫作につとめて居る。

『ウム、あの貧乏畫工か』

世間の人は、侮つて名を呼ぶものさへない。併し百合は疾くから、この青年畫家の世に媚びた人に阿ねらぬ高邁脫俗の爲人に眼を注けてゐた。そして自分の母が自分を浪々の身の上で德山の正しい爲人に感じて結婚させたやうに、遂に、この無名の青年畫家を扶けて、一家を持たせ十九になつた町女と結婚させた。この無名の青年畫家こそ、日本の生んだ最高の南宗畫家池大雅だつた。大雅はその折、漸く廿四歲の若冠だつたのである。大雅はもとゝ、浴北みむろが池の邊りに棄てられてゐた棄子で西陣の池野嘉左衛門と云ふ人に拾はれて成長し、それで池氏を名乘つたのであつたが、この池野の老母が死した折には、大雅は自らその棺を擔いで野邊の送りをしたと云ふほど至孝の人であつたから、德山の出世の爲めに、我身を犧牲にして、幾十年の孤獨生活を送りつゞけて來た百合女の老後もそれから後は、いさゝか慰められるものがあつたのであらう。百合女は、明和元年十一月九日、七十一歲の長壽を保つて歿した。百合女が他界した頃には、大雅の名聲はもう相當に世に知れ渡つて居た。妻の町女郎玉瀾も、和歌を善くし、畫に巧みにして、好一對な夫雅の夫妻として名高かつた。

或年の春、扮裝賤からぬ立派な侍が、眞葛ケ原なる大雅堂を訪ねた。玉瀾が出て應對すると、その侍は懷かしげに玉瀾を見守つて居たが、

『卒爾ながら、某許は、名高い大雅先生の御內室でゐられますか』

と慇懃に尋ねるのである。

『イカニモ妾は、大雅の妻町と申しますが、御武家樣は、誰方でいらつしやいますか』

△

侍はかくと聞くと、愈々親し氣に身を進ませて、

『扨ては矢張、貴女樣でありましたか、某こそは、何を隱さう貴女樣と腹違ひの弟である德山正之丞と申すものでござる。かねて〳〵父母達より貴女方の御噂を承つて、是非御目にかゝりたいと思つて居つた處、今度公用で上京したのを幸ひ、御尋ねしたわけでござります。どうか今後は不肖ながら弟とも思召して親しく御往來を御許し下されまし』

侍は、年頃慕つて居たこの義姉に逢ひ得た悅びに輝いて、かう云ふのだつた。

此時、玉瀾の面には一寸した逡巡の色が見えたが、やがて彼女は言葉を改めて

『貴郎樣の厚い御思召しは……妾はどんなにか嬉しくも存じまする。併し、そのこと丈は亡き母の固い遺言でござりますので』

『ホ、御交際は叶はぬのでせうか』

『亡母は、御身分の違ふ私共が、親類顧して御出入などして、御迷惑をかけては相成らぬから、決して往來などしてはならぬと申して死にました。それ故、御思召しは辱くても、それに背く事は出來ぬのでござりまする』

『オ、それ程までに、義理を立てられてか』

侍は堪へかねた感涙をハラ〳〵と流して、少時は其處を動かなかつたのである。

謹賀新年
村上齒科院
アベニーダ ランゼルペスター
ナ一一二三階（エスキーナ
ドラルゴダセ）

謹賀新年
園部洋服店
聖市 タバチンゲーラ四七

謹賀新年
旅館 萬平
館主 櫻井庫藏
市內コンセレイロ・フルタード九三
電話 二一四四六七
支店
パウリスタ線マリヤ
旅館 萬平
館主 島督
ルア、サンルイス街八四五
電話 四四五

謹賀新年
プ、プルデンテ旅館組合
片岡旅館 館主 片岡音市 郵函一一〇
東洋旅館 館主 前園次郎 郵函一〇九
日之出旅館 館主 村田道江 郵函三八四
ソロカバナ線プ、プルデンテ

Algodoeira do Sul Ltda.
(SOUTHERN COTTON Co.)
Edificio Conde Matarrazzo 12 and.
Caixa Postal "c" (minusculo)
End. Telegr. "Superfine" - S. Paulo
謹賀新年
南部棉花會社
聖市

（賀）（正）
兼安顯誠
グワララペス驛コレゴフルタール耕地

（賀）（正）
林惠七
グワララペス驛コレゴフルタール

（賀）（正）
明穗事務所
聖市

謹賀新年
平田松竹
ソロカバナ線アバレー市
郵函七

謹賀新年
池田正雄
バストス市

謹賀新年
バール ソルベタリヤ 松尾
松尾精一
バストス市

謹賀新年
村薫
聖市 コンデ デ サルゼーダス三一八
電話 二一九八五八

謹賀新年
ポンペイヤ 商工組合
ポンペイヤ市

謹賀新年
座喜味法律事務所
辯護士公訟飜譯人
座喜味盛德
聖市ルアドカルモ一八三階四〇一四一號室
電電 二一四三五八 郵函 三七三〇

謹賀新年
ヴエラクルース産業組合
ヴエラクルース市

謹賀新年
CASA HAMAOKA
濱岡商店
市內 カルロス ガルシーア一〇三
電話 二一七五八一
郵函 九九三
◉家具部 ルア サンタ エフゼニア二〇五
電話 四一五七一八
◉工場 ルア ジャバエス五一一五三

東京下關九時間で驀進
廣軌計畫七億圓
汽笛一聲の鐵道唱歌は昔語
野村龍太郎翁回顧談

【東京特報】今回鐵道省は十年七億圓計畫で東京と下關間を九時間連絡廣軌線の計畫を樹てたと報じて居るが最近東京で、東海道鐵道全通五十年の記念會が開かれた當時鐵道界の耆宿野村龍太郎翁の回顧談を中心として興味ある記錄が發表された。左に之を紹介する。

東海道線全通滿五十年、東京、神戸間の鐵路五百八十キロ五分を本年で丁度五十年間

車 輛が走つたわけである、これを記念して鐵道省では、恰も鐵道記念日から一週間にわたり、神田區万世橋の鐵道博物館で『鐵道歷史展覽會』を開催し半世紀前の東海道線を、堂々黑字國鐵陣容と比較しながら懷古して居る——東京横濱間にはじめて列車が運轉され、我が交通新紀元を劃したのが明治五年五月、それから十七年後の明治二十二年七月一日工費三十五万圓で幹線東海道線が完成東京から神戸へ向つて出發した東海道線一番乘り列車は、同年七月一日午後四時十五分

新 橋驛を出發して、翌二日正午過ぎ（午後十二時五十分）神戸驛へ威風堂々安着した、スピードよりも安全第一、下り列車の東京、神戸間所要の時間は二十時間八分、上りが二十時間十分、僅々八時間三十七分で東京から神戸へ驀進するスピード時代の寵兒『燕』とは、まさに隔世の感だ驛の數も現在では百三十五あるのに、當時は九十一だつたし、直通列車は單線のため一日一往復、運賃は下等（現在の三等）が一哩一錢、中等は二倍、上等が

二 倍で、東京、神戸間下等運賃五圓四十錢、現在い三等が六圓二十錢（通行稅を含ます）だから、八十錢安と云ふわけで、四輛連結の三、四十人乘りのマッチ箱をタンク機關車が五十三次を曳進した、東京、下關間廣軌復線による時速百キロ計畫を持つ今日にくらべたら夢、夢、さてこの幹線が出來たので、明治二十二年の旅客數は前年の七百六十四万人から一躍して一千二十三万人に激增し初めて乘客千万を突破の記錄を完成、開通翌年の明治二十三年三月には尾濃地方で

陸 軍聯合の大演習が行はれて國鐵初めの軍隊大輸送を完行、と云ふ風に、この幹線の開通は幾多大きな使命を果したのである、しかも明治初年には幹線を布設するに當り、東海道は道もよく、海運の便もあるから、人が乘らないだらうとの理由で、中仙道に幹線を敷くことになつたが、中部山嶽地帶の工事困難で放棄し、伊藤博文總理の時、中仙道鐵道敷設のために募集した公債の殘額で、この東海道幹線鐵道の布設を完了したと云ふエピソードもある、この東海道線の全通の當時、鐵道局（今の鐵道省）の技師として勤務

國 府津、山北間の布設工事に從事して後鐵道技監となり、大正三年鐵道省を退き、滿鐵總裁の二度目を勤めた我國鐵道界の長老野村龍太郎氏（八一）は其當日赤坂區新坂町三五の自邸で當時を回顧して語る『私は明治十九年二十九歲で鐵道局の技手として國府津山北間の東海道線布設工事に從事しました、現在のやうな優秀な機械がないので蔦口一本で仕事をするつらさ、おまけに線路工夫は當時みんな人手がないので鑛山の坑夫を使用しましたが

氣 が荒くて仕事は思ふやうにはかどらず、毎晩自腹を切つて酒をふるまつたものです、當時の井上鐵道局長官が督勵の意味で唯一人、たしか明治二十一年夏の雨のふる或る晩、菅笠に蓑をまとひわらぢばきで私達の仕事場に現はれたのには全く驚きました、これを見ても東海道全通に上下心を一つにして居たことがよく解ります、全く當時は神戸まで行くには辨當持參でしたから、現在のやうに八時間半位ひで疾走する昭和の人には開通當時の感激さは解らないでせう』

東鐵功勞者表彰 尙鐵道記念日鐵道省では本省八階の大會議室で多年鐵道につくした本省東鐵二百九十八名（他は各局毎に）功勞者の表彰狀と効績章を夫々授與、受賞者を代表して本省の鈴木監督局長が答辭を述べて式を閉ぢ、一同八階の食堂で午饗を共にした。

癌は全治する
早期診療を仰げば良醫に

米國コロンビア大學のガン研究所長フランシス・ウッド博士は『ガンの公衆教育必要論』と題する論文をニューヨーク市衛生局發刊の雜誌『ネイボアフッド・ヘルス』十一月號に揭げて一般の注意を喚起した、博士の說によれば次の如くである。

ガン患者の死亡率が高い重要な原因は病氣を早期に發見せず余程進んだ時になつて始めて治療を受けるからであるとは普通に首肯されて居る所である、併しながら之れはガンの症狀に對して一般的に無智であるにも原因を發してゐる。

千 九百卅八年中、ニューヨーク市でガンの爲め死亡した者は一萬一千百六十八人に達し病氣による死亡率の一割五分一厘がガンであるとの統計は余りにヒド過ぎる。而も早期に於て治療し得るとの事實を合せて考へるならば、一層歎くべきことである、ガンは不治の病であるとする悲觀的思想は往々醫者の診療を請ふことを怠り、遂に如何とも爲しがたき時に及ぶ事實がある。

記錄の上から見れば成る程エキス光線やラヂウムの進歩せる外科的設備があるにも拘らず、患者が早期に治療を受けるやうにせねば

依 然死亡率は高いであらう、此好ましからざる情勢は單にニューヨーク市のみに限られてゐない、全世界を通じて此通弊に落ち入つてゐるから先づ之を救ふ方法をとらねばならぬ。

醫學專門家の意見としては最も重要な手段は、公衆を教育する事である、それを遂行するために千九百十三年ニューヨーク市に『ガン治療期成會』なるものが設立され、あらゆる方法を以て教育を開始した、しかしガンは流行病ではないから衛生局や警察の力が及ばない

寧 ろ個人的衛生の問題であるから個人々々の理解が必要である。

兎 に角、早期のガンは治療される、ガンは通常四十歲後に起つて來るが診斷が困難な病氣であるから良醫に診察を依賴すべきである、皮膚のガンと子宮のガンを除けば最も適確な外科的治療は可能である。

又 ガンの直接の原因は慢性的の刺戟だと云ふだけは判明してゐる、即ち單なる負傷がガンになる事は余り無い、ガンが打撲につゞいて起る場合、既發の病氣が打撲と共に倒然症狀を現はしたと云ふのが多い

多 年組織を痛めつけた人はガンにかゝり易い即ち腐敗した齒、拙劣に作つた義齒の基礎、口腔衛生を無視すると口ガンの原因となる、しば〳〵熱いもの、冷めたいもの特に辛いものなどの飲食は胃壁をなやましてガンの原因を作り易い、出產の時の負傷を治療しなかつた場合にもかゝり易い

謹賀新年
國行卯一
バストス市

謹賀新年
石橋農具研究所
バストス市

謹賀新年
三宅安太郎
バストス市

謹賀新年
松垣洋服店
バストス市

賀正
バール・ソルベテリア
運搬業
千田商店
バストス郵函一二一
電話四三三

謹賀新年
ホテルアベニーダ
四月朔日與市
チエテ移住地指定旅館
アラサツーバ驛前
電話二一四
郵函二〇八

謹賀新年
藤永力藏耕地
パルポーザ植民地區內
リンス驛

謹賀新年
リンス商工組合
贊助員　今田求
同　山中信一
東山　今富正平
雜貨商　原實藏
同　濱崎末次
同　本田授
仲買商　川越銀太郎
製菓商　高橋增造
鐵工所　田中庄助
同　中村仁太郎
旅館　相原龍平
雜貨商　青木祐雄
同　權藤五月
同　小山實藏
鐵工所　下矢治三郎
仲買商　森部一衛

謹賀新年
カフエランヂヤ
商工組合
齒科醫　家入卯平
伊勢屋旅館　吉安庄造
內外雜貨商　吉安格造
仝　竹內商店
東京寫眞館　熊谷丹司
醬油釀造業　福原信義商會
內外雜貨商　藤澤豊次郎
同　今田商店
安良田建本
共營商會
同　右田商店
製菓商　三橋万之助
月見屋旅館　平野產業組合
安原善太
佐々木商店
吳服店　小林至誠堂
藥局　田邊賢一

謹賀新年
塘宜司朗耕地
ボアスペランサ植民地區內
グワランタン驛

謹賀新年
山中齒科院
山中信一
リンス　ルイスガーマ四九六

リオでのお宿は？
當ホテルは日本人にお馴染多く帝國大使館員には特に御愛顧を受けてゐます。
當ホテルは最新式設備で各室に風呂場電話等の備かあり、お食事は充分吟味してゐます而も宿泊料は大勉强致します。
場所は風光明媚
（二三五）

PAYSANDU' HOTEL
R. Paysandu' 23 - Flamengo - Rio de Janeiro

DR. H. FENICIO
Av. S. João 536-2 and.
Tel. 4-1188
痲病（〇二五）
ケタリング治療器の使用によりその熱作用で僅か一、二回の治療で根治します。二ケ年の經驗あり。治療費僅少　診察無料

特許取扱（〇二六）
アドルホ・ブルンネル
聖市サンベント街二〇〇
一階第九室
電話二一四三三一

謹賀新年
新里兄弟自動車修繕工場
アラサツーバ市
アベニーダ　デ　カフエ街三五一

測量師
三年で成れる
本校三ケ年の修業で立派に測量技師に成れます目下入學の好機會
●來談は火、木曜日午后八時から九時迄或は書面にてのお問合せにも應ず
Av. Tiradentes, 182-Sob.
(Sede do Centro Academico)
（四一四）

純金（二六）
●鑑定評價無料
純金が賣られるなら其前に一寸當所へ持つて來られよ損にならぬ樣無料で評價ご上まげす
●銀、金齒其他オウロなら何でも買ます又齒科醫用オウロも賣ります
R. Libero Badaro, 646 1º and. S. 3 ou R. S. Bento, 549 1º and. S. 9
（ベラルゴ・サンベント近く）

Machina de Algodão de Promissão
Proprietarios Masaki - Iyda Limitada
Arrendada a Brazcot Ltda.
マキナ
サンパウロ
間崎
飯田
リミターダ
プロミツソン
電話三一

謹賀新年
日本書店
御目出たと共に珍らしい書籍がそろひました
リンス市

謹賀新年
直輸出入商
株式會社小西商店
○輸入——生糸、醫療器械、印刷機、自轉車、染料塗料化學製品及雜貨
○輸出——棉花、鑛山物、農產物
本社　大阪市北區中ノ島二丁目五六
株式會社小西商店
—支店—
○リオ出張所　リオ市サンペドロ一一三A
○東京市芝區田村町二丁目
○神戸市フキ合區磯部通六丁目
○大連市山形通り一八
○奉天市小西關小十字街二九二
○天津市法界中銀街一一〇
○ボンベイ市ホンビーロード街
○ハルビン市埠頭區地段街七七
○サンパウロ市　セナドール・フエジョー街一七七
電話二一九六四四一二一四八〇一

自觀在

峨山禪師の大西郷觀

聖市　猶存生投

京都嵯峨天龍寺の峨山禪師は實に近代の高僧であつた、かつて日清戰役終了直後或る政客の訪問せるに對して『今の政治家は大抵ケツメドが小さい、いや全然ケツメドなんかはありやしない、だから何れも糞詰りに窮するの結果外國人の脚下のみ覗つて、いつも對手國に付き廻つてゐて御自分の脚下がまるでお留守になつてゐる、そんな事では活きた仕事は出來ない、先んずれば人を制す、何時も外國人に先き廻りされる樣ちや金槌の川流れである、見よ折角大勝した日清役の馬關談判はどうだね、自分の脚下がおるすなものだから李鴻章からケツの毛まで拔かれ、支那人ばかりぢやない遠く歐米の紅毛人にさへ日本の政治家と云ふものは案外ケツメドが小さいもんだなァ、之では此後どんな難文句を持ち込み行つても樣なものとスツカリ見すかされ、お手前達の弱点をさらけ出すばかりぢや、見なさい此後何十年となく外交は失敗のしつゞけ、その度毎に忠勇無比強剛無類の軍人さんから怒鳴りつけられたらう、外交談判だつて我等が禪の修行だつて同じ事手も足も口も舌も動かぬ以前に、もう早凡くらか聖か剛か、直に看破する、之でなくてはならぬ。

◇……◇

一切は活眼だ、膽識だ、今節の政治家は綱と鉄を器用に使つての切張り小細工に根氣負けと云ふ形で、唯だ徒らに外人にペコ〳〵頭を下げるを能としてゐるから、結局散々泥脚で踏みにじられても氣がつかず、却つて親米の親英の親露なんてドングリ鼻をうごめかしをるかく、國家の前途があやぶまれる、どうしてソンナ小才を放りすて、活眼を開かぬのか、活眼を以て大膽識を藏する肚さへすれば外國が何をやらうと、かにをやらうと平氣の平左、微塵も動ずるを要せぬ。自分の信ずる所をどし〳〵やつてゆけばよいぢやないか人を奪つて人に奪はれず、でなくては駄目だ。わしはこの大きなケツメドを作つてやりたい一念で常に若い奴らを叩いてやつてをるがどうぞ君もケツメドを擴げにやつて來んか。

◇……◇

何んでも將來あのやうな鼻つぱしの強い外國を相手にするには學校あがりのハナチョコでは駄目ぢや、眞に千辛萬苦、浮世の荒波にもまれ〳〵て大悟せる大きな胆の男でなければ、する事なす事却つて内かぶとを見すかされるばかり……而自くもない理窟は之れ位にして、どれ一杯ゆかふと和尙は貧乏德利をわしづかみ茶椀酒をあふり、酒の肴にサツマ芋を出し其の一番大きな處をはさみ上げ、

『これがわしの好きな西郷さんぢや』

とばかり噛り出しながら更に言葉をつゞけ、此頃の政治家はどれもこれも我々を食ひ物にしたり、チツポケなケツメドから出す肥しにしたりしるが、これからは我々國民が擧つて政治家なるものを食ひ物にし肥しにせんければならぬ。ジヤウダンぢやないホントに我々國民の食ひ物になり肥しになるのを無上の光榮とする、つまり國家のために大馬鹿になり終り身を殺して仁をなすの大物が出んければダメだ、そこへゆくと西郷さんは實に偉い。

◇……◇

或る日のこと若い政治家の面白い奴が『西郷さんあなたは何故ヒゲをはやしませんか』と突拍子もない質問をした、處がなるほど西郷さんだ『おいどんはドジを下げるを能としてゐるから、結局散々泥脚で踏みにじられても氣がつかず、却つて親米の親英の親露なんてドングリ鼻をうごめかしをるかく、國家の前途があやぶまれる、どうしてソンナ小才を放りすて、活眼を開かぬのか、活眼を以て大膽識を藏する肚さへすれば外國が何をやらうと、かにをやらうと平氣の平左、微塵も動ずるを要せぬ。自分の信ずる所をどし〳〵やつてゆけばよいぢやないか』と、突つ放ヨウぢやなか』と、突つ放した、處がこの若い政治家『それでは鯨ですか』とやつた、之に西郷さんの曰く『大きなツラをしながら始終鍋やエビなどのやうな罪のないチツポケな弱虫を食ひ物にする鯨の如きは以ての外ぢや』

若し政治家仲々負け居らず『それでは西郷さんは何んですか』とやつた。西郷さん大きな手で鼻筋を撫でつてゆけばよいぢやないかと云つたのは折角お前のやうな若い奴らが世の中特に官吏になんかなるとヌラリクラリとつかみどころのない奴になりさがり皇國の皇運たる所以を忘れ、ひたすら己が出世にのみ即ちウナギ上りに懸命で國家百年の大計を忘れる奴が多いから、キサマも氣をつけろと云ふ譯になるのだが、その意味が分らんで何んぢやかんぢやと文句をこねるが困つたものぢや。

して、おいどんはサツマ出身ぢやからサツマ芋が本体だ、いついかなる場合にも貧乏百姓や貧乏書生を喜ばすのはサツマ芋ぢやないか、して國家を守る者は結局このサツマ芋を喜ぶ者ぢや、又サツマ芋は若い女にも好くからなア、、、』

と呵々大笑されたと云ふが西郷さんの胸奥には全くほれ〳〵する。

最後に朝鮮問題の時に西郷さんは何んと云つた、時の外務大臣は有名な副島さんだ、副島さんは仲々見識のある方だによつて自分で直接朝鮮へ談判に出かけやうとした、この時西郷さんの言はれた事を思ひ出すと自然涙がこぼれる、曰く

『副島さんあなたならオイドンよりも學問もあるし見識もあるから立派に談判はするだらうが、朝鮮のかげには支那がある支那のかげにはロシヤがある、オイドンは殺されに行くからオイドシをやつて下されと云々』

即ち外交談判の秘訣は、である、海千山千の歐米外交官へ日本の學校出のヘナチョコ、いかに小才をふり廻しても歯かたつもんか。

皇國の外交は西郷さんのハラをもつてゆく時初めて盤石の重きに置かれ、さもなくんばたゞ徒らに内カブトを見すかされるだけだ、西郷さんは實際偉いよ。と

重症セキリに外ならぬのである、唯二歳から六、七歳までの小兒の特性が同じセキリ菌に對して大人より重く且つ違つた反應を呈するに過ぎぬと信ずるのである

所謂エキリと云ふのは、最初は軟便下痢、頭痛、腹痛、嘔吐、輕熱等があつて間もなく數時間の中に四十度以上の高熱が現はれて便には粘液を混じ、稀には僅かの血液や膿を混ずることがあるが、しぶりはなく、同時に嘔吐脣レン、うわ語を發して昏睡狀態に陷り、速かに心臟衰弱を來して指趾唇に紫色を呈し、腹は綿のやうに軟かくなり、廿時間——廿四時間にして斃れるのである、便にテールの樣な血を雜へたり、吐物にコーヒーの樣な血を混じだりすることがあり、實に疾風迅雷的に戰慄すべき病氣であるが、よく前記の症狀を辨へ手遲れなく醫師の治療を受け、幸ひに三、四日生命を維持すれば、後は多く普通のセキリのやうになつて癒り得るのである。

前述の如く一口にセキリと云つても輕重種々であり輕きは一週間中等症は三週間位重いのは一ケ月余りで治るのが多いが、最重症は速かに斃れる、時として腸の潰瘍が往再治癒せず、慢性に移行し衰弱して逝くのもあるが、幸ひに腸潰瘍は治つても爾後腸が過敏となつて容易に下痢したり、また瘍痕のために腸が狭くなつて頑固な便泌を殘すこともあり、小兒はよく脱肛をのこすものである、アミーバ性のものも、バクテリヤ性セキリの症狀と殆んど違はないが唯これは多く慢性に移行し易く、屢々肝臟膿瘍を合併する傾きがあるアメーバ性セキリは地方病で廣く傳播しないが、バクテリヤ性セキリは毎年五六月より十一月頃まで流行し多數の人命を奪ふのである、セキリ菌の巣窟は糞便で、これに汚染する水、食物、衣類、昆虫を介して侵入するのであるから何人も油斷してはならぬ、特に農夫とか勞働に從事する者は感染の機會が多いから一層注意せねばならぬ、而してセキリは一度罹つたからと云つてチブスのやうな永久免疫性を得ないので、再三罹患するものがある、又病氣が全治しても長く菌を排泄するものがあり、加之健康者にして便中にこの菌を保有し、諸方へ撒き散らすものもあるので豫防も中々困難であるから、各人相戒め攝生と衛生に努むべきである

講座

夏になると多くなる赤痢及び疫痢

在リオ・デ・ジヤネイロ　DR・M・F・A生

夏期に多い病氣に赤痢がある、大腸に炎症潰瘍が出來て大便の赤化するのを赤痢といふ、赤痢には細菌によるものとアメーバによるものとがある、またそのバクテリヤにも本型と異型の二種があり、異型にも赤四種あつて、第一型第二型など、名づけてゐる、アメーバ性セキリは北伯方面等熱帶地方病であつて、夏期に奥地で流行するのはバクテリヤ性のセキリである、セキリは老幼と男女を問はず感染して二日乃至八日で發病する、初めに數回下痢があり、發熱して多少全身違和を覺え、排便時に腹鳴り腸痛を伴ひてしぶり、粘液血便が出て後には膿がまざり腐つた肉樣の觀をし一種固有の臭氣を放つのが常態であるが、時には血液を混ぜず單に粘液ばかりで白く見ゆるのがある、これが即白痢と稱するのである

併しセキリも白痢もたゞ程度の差違で病源は同じである、便が赤くないからセキリでない、從つて傳染しないと考へるのは大變な間違ひであるが、一般にはそんな考へをもつ人が往々ある、セキリは一日數回乃至數十回の頻繁な便通があり甚だしきはひつきりなしに便通を催し、終日終夜便器の上に流連せねばならぬのもある、而も便通は甚だ僅少で二匙か一匙位に過ぎず便通が頻繁なために肛門は赤くなつて痛み脫肛を見る終には肛門が麻痺して締りがなくなり糞汁の垂れ流しとなることがある、腹は陷沒して左の下腹に索狀の腸管が觸れて壓せば痛む、舌は汚穢し食慾はなくなり咽喉が渴き時に嘔吐や吃逆が起ることもある。

本病は主として大腸を犯すので病氣が此處に局する方が多いため概して熱は余り高くないが、若しこれが小腸へ來ると小腸セキリと稱してチブスの樣な高熱が現はれ腸病が起る、この場合には却て便痛が少く、しぶりも輕く糞も液狀し粘液に血液の混ることも少い、重症のときは脈細く早く、舌は黑くなり皮下に血腫を生じ眼は凹み聲はかれ速かに衰弱して斃る、のである

小兒がセキリに罹ると屢々特異の症狀を呈するものである、即ち熱も高くなりつゝ、嘔吐等を來して而も便通なく、或は僅かに一二回の粘液血便を出して直ちに死ぬことが多い、斯く小兒はセキリ菌に對して大人よりも甚だ過敏である、特に人の恐れる小兒のセキリも醫家の見解では小腸セキリ

謹賀新年
内外雜貨、雜穀仲買
大西兄弟商會
本店　プ・プルデンテ市
支店　サント・アナスタシオ市

謹賀新年
内外小間物、反物商
井上商店
井上樹義
プ・プルデンテ市

謹賀新年
旅館常盤
館主　石原桂造
市内コンセレイロ
フルタード一一
電話　二一三六九〇

謹賀新年
北川齒科院
北川重信
イルマン・シンプリシアーナ
（伊藤商會ノ二階）

謹賀新年
バザール　パウリスターノ
梅田商店
聖市　プラツサ・ダ・セ八四
電話　二一五二八六

謹賀新年
本會提唱の銀紙報國運動開始以來既に滿一ケ年余全伯同胞諸氏の支持を得、加へて大阪商船會社の御厚意に依り便船毎に母國陸軍省へ献納致し居り候其れは既に二百五十キロの莫大なる數量に達し申し候本會は茲に御熱誠なる献納者諸氏に對して深く謝意を表すると共に右事業は興亞長期建設の聖業に副ひ續行致し度存候に付改めて全伯同胞の御協力を御伏願申上候
昭和十五年一月
サントス日本人會
全伯同胞各位

謹賀新年
同仁會地方醫局
醫學士
内田利藤次
プ、プルデンテ市

SECCOS E MOLHADOS
Armarinhos
謹賀新年
内外雜貨商
大阪屋
大西猛商店
マリ、ヤ市
サンルイス街一〇九五
電話　三二五

SECCOS E MOLHADOS
Armarinhos
謹賀新年
内外雜貨、小間物文房具一切
三宅商店
マリ、ヤ市
サンルイス街一一一〇
電話　一三八
郵函　一〇四

謹賀新年
小間物、反物、帽子類、既制服、其他一切
皆樣の
カーザ東郷
柴田勇太郎
マリ、ヤ市サンルイス街九八七
電話　四二七

謹賀新年
菊池英二
聖市

謹賀新年
日下部勇悟
ピネイロス向上會

謹賀新年
昭和十五年一月元旦
在伯
日本人同仁會
サンパウロ
日本病院

謹賀新年
アラサツーバ市
商工組合
（いろは順）
雜貨商　一ノ瀨商會
同　出利葉商店
製麵所　伊藤製麵所
バール　保坂バール
精撰所　大原商會
鉄工所　余越鐵工所
雜貨商　武部商店
精撰所　安瀨商會
旅館　平井旅館
雜貨商　菅山商店
旅館　松本長重郎

瀬ノ上商會
本店
ノロエステ線グワララペス町
農産物賣買
棉花取扱
精米精珈工場
支配人　米田一郎
支店
ノロエステ線ミランドポリス町
農産物賣買
棉花取扱
カフエ精撰工場
支配人　和氣幹爾
支店
ノロエステ線グワラサイ町
農産物賣買
精米工場
フオルタレーザ農園
養トン場
支配人　櫻井嘉福
從業員一同
主任　貞永三郎
昭和拾五年一月一日
瀬ノ上保生

高血壓の話

M・O・H生

（三）

本態性高血壓症とは何か

これは本體性血壓亢進症原發性高血壓症、良性又は赤色高血壓症等と申されて居るのでありまして、前稿の血管性高血壓に相當するものであります、此の本態性高血症と云ふ病名は、醫學書でも古いものには書いてないのでありまして、極く最近に於て研究され本病が一つの獨立した疾患として、名稱を付けられた病であつて、今より廿年前には無かつたもので、外國でも此の言葉が生れてから未だ卅年にはなりません。

◇

高血壓を起す病氣は、前にも申した樣に澤山あるのでありますが、これはその中で最も多い原因的疾患でありまして、それだけ又大切な病氣であります、以前はこの本態性高血壓症と云ふのは、漠然と動脈硬化症と同一視されて、血壓が高くなるのは動脈硬化があるゆゑであるとのみ考へられて居つたのでありますが、最近此の方面の學問が長足の進歩を致しまして、高血壓と云ふものは以前考へられて居つた樣に、動脈が硬化肥厚して血管腔が狹くなりその結果本症狀が來るものでばなく、反對に血壓亢進が持續して居ると、動脈硬化も起して來ると云ふ逆の學說になつたのであります

◇

この事は十分御了解願ひたく、この點は重要な事ですから、も少し詳しく申し上げませう、本態性血壓亢進症の定義といつたものを申し上げると、腎臟とは全く關係なく、尿に何等の變化もなく、純然たる血管自身の機能的異常に由つて起る病氣で、全身の細小動脈の緊張（トーヌス）高進によつて足るもので、臨床上初期には器質的病變なく、晩期に至つて全身の細小動脈の硬化を認める病氣であると云へるのであります、腎臟病などの時起る血壓高進に就いても、最近全身の細小動脈即ち毛細管内に炎症乃至膨化が起り、その爲に高血壓症を呈すると云ふ人、又キリン氏フオルハルト氏等の樣に、毛細管に或る病變を起し又はある物質が出來、これが刺戟となつて細小動脈の痙れんが起る爲めだと云ふ人もあります

要之するに本態性症は、全身の細小動脈の緊張高進が根元であり、この緊張高進は神經性要素と内分泌性要素との影響を受けて起るものであらうと云はれて居ります、然し如何んせん本病發見以來日なほ淺く、未だ此の方面の十分な實驗研究が進んで居らない爲に、現在ではその原因も發生病理も、その本態に就いても詳細は確實には判つて居らないと申し上げるより外ないのであります。

高血壓の原因

高血壓を起す病氣は色々ありますが、その中で一番多いのは本態性症で、これに次いで腎臟炎、姙娠腎その他の腎臟疾患であります事は前述いたしました、その外外腦の病氣殊に腦壓の高まる樣な疾患、間腦もしくはその近くの疾患、更に精神病乃至は神經痛で高血壓を示すものもあります、又内分泌系疾患などで起る事もあり、又眞性赤血球增多症などの場合にも高血壓を示すものであります、而し此等は本態性高血壓症より來るものに比し遙かに少いので、本稿に於ては主に本態性に就いてのみ申上げる事にいたします、然らば本態性高血壓の原因となるものは何かと云ふに、これは未だ充分に究明せられて居らないのであります、それで……原因即ち遠因と認められて居るもの、及び現在本態性症より來る事が最も多いとされて居る腦出血の原因を總括的に申上げて見ませう。

（一）年齡　何れの統計より見ても高血壓を來すものは中年後であり、年齡の進むに從つて增加するものであります。

（二）性別　女より男の方が遙かに多いと云ふことは内外の統計で一致して居り統計で見ても明であります此の主の原因は男女の生活狀態が大に異るため。

（三）体質　何れの病氣もその病氣にかゝり易い体質があるやうに之れには卒中体質と云はれてるるのであります、これは体格强健、骨格頑强、肥滿し、身長短小、頸は太く、腹圍胸圍の大なるものを云つて居るのであります、然し必ずしもこのやうな人にのみに本病が來るものではありませんで之れと反對にやせた人にも來る事もあります。

（四）遺傳　昔から之れには遺傳的關係が濃厚であることは、廣く知られてゐる所であります或る學者の說によれば百人の腦出血患者の中八十五人がその血族に同病がある事を認めてゐます、又百九名の患者についての調査によると、父か母の一片のどちらかの血筋に八割七分の卒中患者があつたと云ふことです、そして父方に遺病率が極めて多いと云つて居ります。

モスクワの裏町

本文は一九三九年巴里出版前上海通信員ジエ・ホオンテノイ氏著『旅行者の夢』の一部を譯出したるものである。

◇

クレムリンを西に行くとトウエール街に出る。が、其の街路はツシリー寺院の約一哩。ワルソウ停車場の前の汚い廣場の所迄延びてゐる。更に、一時間許り、硬い黑味がかつた積雪の中を行くと、家はまばらになつて來る、色の褪せた煉瓦造りの家、ごみが一杯になつてゐる。殘つてゐる漆喰もはがれて大きな破片になつてゐる。雨に洗はれた垣根、貼札の破れがまだ懸つてゐる。所々にある素々はい木綿の布、泥でやつとつてゐるだけのボロ〳〵の寒氣に表を切つてゐる。右側には板塀と緣がかつた柵が板の盜まれてゐる所は空つぽになつてゐる。その下にはもう人間の害蟲が蠢めいてゐる。

□

我々はスモレンスク市場に着いた。そして中に入つた、霜で凍え切つて街の上や、空氣の中に漂ひ空氣の代りに呼吸してゐる白霜等にも拘らず、惡疫の臭ひが喉を詰まらせた。この垣に圍まれた場所は少くとも巴里のコンコルド廣場位の大きさはある。土地は街から緩く傾斜してゐる。どつちの方エ？だが、この大きな場所に一杯になつてゐるボロやゴミにまみれた一萬乃至二萬のもの達の集團の向ふの境がどうして見渡せよう？着物は？汗でべと〳〵になつたボロ。幾條にも垂れ下つた黑い羊の毛皮、古い靴の片方、群集の中から多くの手が上つて。餓えてゐるもの達の挨拶？否各人が交換し樣と思つてゐるものを高く上げたのである。出來るだけ高く自分の財產を上げて、人に見て貰ひ、買つて貰はうとしたのである。これは奇妙な、悲しむべき陳列であつた。

□

鴨の卵。材料の殘り、澤山の材料の殘り、こゝには綠の天鵞絨が一米計り、あすこには棹諸共の日除け天幕。スリツパが一つ二つ（勿論とうに、使ひ古してゐる）兎の毛皮、一打もある兎の脚。壞れた皿、實際壞れてゐるー、フオータ。藥箱、呼鈴。嘴のない剝製のカナリヤ、ガラスの目、吃度歲の市の魔法の袋から出たらしい二フエニツス位の指輪、學校の帳面（もうみな書いてしまつてゐる）板紙で作つた空の煙草の函十個。然が半分。それに卵一つ、人形の首、鉛筆の切れつ端、大きな牛の骨（骨の持主は澤山ゐるまるで墓場みたいだ）帽子のピンについた一打もの鴉烏の羽。古い靴下、古い指なしの手袋

蒲團の毛であつたのを綱で結へたもの、紐でかゞつた革のつなぎ、出來るだけ色々の材料でのボロ布、新聞紙、汚物で詰まつた體を包んで居た野兎の皮。時にはロシヤ式の長靴、だがこれも破れたり、形が崩れたり孔があいたり、裂けたりしてゐて、縫目が割れてゐる時にはこれが木の皮や筋で結びつけてあるフエルトかズツクの靴やある。これらのものが押し合ひ、群がり合ひ、重り合つて、彼等の醜惡さにも勝る嫌惡の念を催さしてゐる。

□

これがスモレンスク市場であるこゝでは何でも賣つてゐる。臺の上には珍らしいもの、軟かなもの、大理石の條のついたもの、紫色のものなどの破片が並んでゐる。蟲の一杯ついた牛の脂。血のついた皿も一つ、商人が掌でまるめた脂肪の塊。更に又一片の肉――もしさう呼べゝのなら、さへも添へてある。こゝでは非常に高價な黑いもの、一片である。その持主はこれを傍に置いてゐた。臺に押しつけられて、一人の百姓が肉を摑んで、これを嗅いで爪で引搔いて。どんな不足な點を見つけ樣としたのだらう、彼は兩手で强く握つて、濡れた、洗濯物の樣にしぼつた。これは大丈夫であつた。彼は滿足してもう一つの方法で驗して見た、二、三度これを强く長靴の踵（これは絲で上の皮と結ばれてゐた）に叩きつけた勿論音がしたが、彼には氣に入らなかつた。彼は『フシ』といつて唾を吐いた。隣の男のボロ着物に唾をしたが、この男は少しも氣にとめない。一人の女が彼の行動を見てゐた。私は女に訊いた。老婆なのか、若いのか？、判らなかつた。彼女は革の樣なものを私の鼻先につきつけた、靴一足であ。脚の所が破れ、底が裂け、錆びた釘が三本飛び出てゐる。孔のあいた長靴の片方、群集の中から多くの手が上つて。餓えてゐる、說敎者が我々の集會の時に忱慾として『プロレタリアート大共和國』の『成果』を語つてゐた時代のことである。

（これも亦古い！スモレンスク市場には新らしいものや使へるものは何もないのだ）壞れた空壜。半分小便のはいつた藥壜。

□

我々は立ち止つた。之ら凡てのことがこゝで、この低い霜と雪とでどんよりして空の下で行はれてゐた。非常に低いので、腕を延ばせば突き破れさうに思はれた。私はソヴエート聯邦をもう知つてゐた。これに就いては既に多くを知つてゐた。だがこんな妖怪な光景を私は夢にさへ見たことはなかつた。肉體的疲勞と精神的嫌惡とに疲れ果て、私はそこを去つた、私はソヴエート高級の人々にこのことを訊ねて見たい。これら凡ては革命後十七年目の一九三四年に起つたことである、說敎者が我々の集會の時に忱慾として『プロレタリアート大共和國』の『成果』を語つてゐた時代のことである。

Dr. LAET DE TOLEDO CESAR
RUA MARCONI, 138 - Edificio S. Manoel
6.º andar. - salas 612. 613. 614 e 615.

外科醫
X光線
紫外線
ヂアテルミー
電氣治療
下顎の手術
困難なる拔齒
（三一九）

新年と共に
皇紀二千六百年祭を祝す
バール
ホテルサンパウロ
佐藤東壽
バルパライゾ町

賀正
園田洋服店
變更線グワララペス市

謹賀新年
ペンソンフジイ
藤井康善
グワララペス市
ブルデンテ、モラエス街三五四

謹賀新年
バール ペンソン
松熊藤太郎
グワララペス市

明けましてお芽出度う
反物商
古川
濱崎
コンパニヤ
バルパライゾ町

謹賀新年
林田鎭雄
パストス

謹賀新年
醫學士 笹田雅數
パストス

賀正
本月より一般大衆向食堂增設
給有小女給仕
女給さん大募集
聖市コンセレイロ
フルタード一八九
料亭〇〇
電話 二一一七一一

（賀）（正）
友寄英芳
カンポグランデ

謹賀新年
淺倉歯科院
市内 グローリヤ三五二
電話 二一六八四八

謹賀新年
料亭青柳
市内 タバチンゲーラ五六
電話 二一一九四八

謹賀新年
安瀨商會
安瀨盛次
アラサツーバ市

謹賀新年
和洋御菓子
西中菓子店
市内 コンセレイロ、フルタード街一三
電話 二一八三八三

謹賀新年
農產物賣買及委託販賣
岡部英一
聖市青物市場バラツカ拾番
電話 二一五七一七
郵函 四二四七

謹賀新年
アラサツーバ日本人會
アラサツーバ市

謹賀新年
清酒
東麒麟
東鳳
カンピーナス農產加工會社

海舟先生訪問記

明治三十年二月十八日の日記より

副島八十六

次に掲ぐる日誌は、予が明治三十年二月十八日早朝、一片の紹介狀を携帶せず、突如勝海舟先生を赤坂氷川町邸に訪問せる際、恰も病臥中なるに關し、特に面謁を許され、前後六時間の長きに亘りて懇切なる教訓に接し、且つ分外の優遇を受け、驚喜感激措く處を知らず、當夜直に禿筆を呵して其印象を記錄し、深更に及びて稿了せるものに係る。今次本文を點檢するに方り、當時予は徒に鬱勃たる壯心に燃え、意氣旺盛、自負自大の一窮措大にして、全然一代の偉人に對する禮節を解せず其態度の粗暴不謹慎たりしに想到し坐ろに背汗を覺ゆるものあり。

（本文中の傍訓假名は海舟先生の江戸訛なり）

○　老伯は勝田の發行する雜誌の賣行、評判などにつき細々と問ひ糺し、見込よしと聞きていたくうち喜び、滿足のおもゝちありき。かれこれする內に、ひるめしの配膳にあづかりき。牛肉のすひものもうまし。煮肴もうまし。芋のころ〳〵煮も亦うまし。勝伯は初め予にはなせし言葉に違はず、めしはわづかに一杯しか食はざりき。食後のはなしは益々面白くなりぬ。伯は老女いと子を呼びて海舟祕錄及要用書類を持ち來らしめ其中より目立ちたる節々を擇びて我等に讀みきかせ、或は又細々しき解說を加へて、維新當時政變の顚末を具さに語りくれぬ。この內には未だ多く世人の知り得ざる事實あり、驚くべき秘密談あり、予は新たに種々の狀情を發見しぬ。伯いふ世間に發表されてゐるのはほんの、うはつらの一部分だよ。まだ〳〵人の氣の付かない事實が隱れてるんだよ。しかしおれは別段惡がられるにも當らんし、またあまり褒められたくもないから、當分世間には知らさない積りだよ。なにい、ことは人のせいにしておくのがいゝんさ。お蔭で侯爵になつてる人もあるんだから、而して明治三年僞造銀の消却に關して、大久保と交渉したる內部の事實をつぶさに陳ぜられ、實に意外の感ありき。

（註、僞造銀は僞造藩札の聞き違ひなりき）

伯の人物評は最も傾聽するに堪へたり。予が日頃より感じたる處とほとんど符節を合するが如かりしは、奇とすべきなり。曰く、李鴻章よ。あいつは中々えらい奴よ。丁度今年おれと同い年だよ。七十五だよ。それであの度きようはどうだい。あんなちつぼけなことでも、日本までやつてきたよ。かはいさうだネ。（註、副島は副島種臣なり）長州じや木梨、あいつはえらかつたよ。木戸なんぞはよつぽどおちるね。しかしあいつには伊藤といふ才物が附いて居つたから、表面は立派なもんだつたよ。伊藤もあの時は中々骨を折つたよ（註、木梨は木梨平之進なり）品川はどうしてゐるねあいつは松陰を神樣のやうにたてまつつて居るが、己れは左ほどのものとは思はんよ。なるほど松陰は學者で壯士で、そして人の先輩を著けて外國へ渡らうとしたんだから、えらいにはえらいさ。品川は一にも松陰二にも松陰、一寸困つてくると、ぢき松陰先生があいつた、かういつたと、松陰をかつぎまはすよ。ありや正直なんだらうよ。（註品川は品川彌二郎なり）

長州人の缺點は、才がある、けれども、腹の强いことがないよ。どうも腰が弱いよ。薩州人は才はないよんなのろまだよ。けれども、はらが据つてるよ。氣性がある。余り事をせくくせつかつて困るよ。こればかりはきづだよ、土佐人も氣性があるよ。しかし器がどうもみんな小さいよ。一體板垣なんぞは政治がやれる男ぢやないよ。小さい奴よ。（註、板垣は板垣退助なり）

太いことじや後藤だよ。あいつは馬鹿に圖太い奴だ（註、後藤は後藤象次郎なり）大久保に就ては特に論ぜざりき。たゞ折々、流石の大久保でも等の語氣などにより察すれば彼の偉物たりしことは、確に認識し居りしもの、如し。されど西鄕南洲とは大に種類を異にせることを信じ居りしものと思はる話題は更に轉じ行ろが、おれなんぞにすゝめるよ。あなた私の娘の中で誰れが一番氣に入りましたかそしてだれが氣に入つたと云ふもんなら直ぐそこへ△イーヤ死ぬのがいやだ。當り前だよ。誰れかお前を殺さうといふもんがあるのかい。無い、無い筈だ、誰れが貴樣見たいな奴を殺すものがあるもんで。貴樣、しらみが居るだらう。こゝに出して見な。お前につぶされるまで待つてやしないよつたもんだよ。それも表の間で禮儀を正して、大そう厳格なものよ。むだ口なんか一ことだつてきかなかつたよ。初めこの事を大きう惡る口いつて居た大久保も、自分が高位高官になると、青生で居た時の樣にやつて行けなくなつたと見えてやつぱり世辭には應接を嚴しくして、容易に人に逢はんやうになつたよ。それでおれは大久保をひやかしてやつたことがあるよ。ナニ、門前拂ひや立腐拂ひは度々食つたのかい。せけんは一穀大でいなものはさうするよ。古と今と一寸も變らないのは己ればつかしだよおれもこれから少し權しきぶらうかしらん。おれの肩書きは中々立派だからね、權しきぶるには重寶だよ。アハ、、、。

おれはこのせつはしよつちう體がいけないよ。こんなにむやみに聲を出しちや夜分は又苦しむよ。副島はほんとに人が惡いよ。無理に强迫じておれにこんなにしやべらすんだものを。アハ、、、ワハ、、、。

○　おれがさんざいつちにいつたころ、（註、さんざいつちは布哇ホノルル港の意）おかしいことがあつたよ船からあがつて度々器械場を觀察したが、（註、器械場は造船所ならん）その中にぢざくが澤山居つたのには驚いたよ。其卑猥な所作といつちや言語道斷で、おれも器械場へ行くことを恥ぢたよ。人の大勢居る中でなんて、そんなものか。氣をおちつけて靜かにやらなけりゃ、とあつてこみ入つた話をしてもゝ、ろくな人間になれないぞ。お前は何者だい。學生だと、そして何してるんだい。遊んでる。いけない奴だ。遊んでくらすといふ法があるもんか。紙屑ひろいでもしな、エー。一語は一語より激しく頭からがみ〳〵かみつかれたれば、彼男はたゞ平伏して何の言葉をも出さゞりき。（註、一書生とは信州松本人松原溫三と稱し、同鄕青年間に重視せらる、者なる由を後日漏れ聞けり）

伯は吾等の方に向ひて頻に前のはなしをつゞける時、突如として彼は伯に言つて曰く、先生どうしたら死ぬのがいやでなくなるもんでせう。伯、何に死にたい。イーヤ死ぬのがいやだ。當り前だよ。誰れかお前を殺さうといふもんがあるのかい。無い、無い筈だ、誰れが貴樣見たいな奴を殺すものがあるもんで。貴樣、しらみが居るだらう。こゝに出して見な。お前につぶされるまで待つてやしないよつたもんだよ。それも表の間で禮儀を正して、大そう厳格なものよ。むだ口なんか一ことだつてきかなかつたよ。初めこの事を大きう惡る口いつて居た大久保も、自分が高位高官になると、青生で居た時の樣にやつて行けなくなつたと見えてやつぱり世辭には應接をアッハ、ウフ。さうじやないか副島どうだい。

○　一書生あり、伯の固くいなむにもかゝはらず、强いて面會を求むるにより、伯遂に之を許す。彼男室に顏を出すや否や、伯大喝一聲叱して曰く、おれが病氣で困つてるといふのに、客があつてこみ入つた話をしてるといふのに、聞き分けないで、何うしてもあひたいなんて、そんな剛情な奴があるものか。氣をおちつけ

なにもかゝはらず、强いて面會を求むるにより、伯遂に之を許す。彼男室に顏を出すや否や、伯大喝一聲叱して曰く、おれが病氣で困つてるといふのに、客があつてこみ入つた話をしてるといふのに、聞き分けないで、何うしてもあひたいなんて、そんな剛情な奴があるものか。氣をおちつけて靜かにやらなけりゃ、とあ

Redação e Administração
R. Pires da Motta, 338
Tel: 7-1614

NAMBEI SHIMPO

(SEMANARIO SUL AMERICANO) Traducção dos artigos principaes

Diretor: J. V. França
Proprietario:
Y. Nakamura

FUNDADO EM 1928 | S. PAULO—SEGUNDA-FEIRA, 1 DE JANEIRO DE 1940 | SEMANARIO, No. B-267

O cancro é sanavel, quando lhe for ministrado suficiente tratamento na sua fase primaria

O Sr. Francisco Wood, diretor do laboratorio anexo á faculdade de Colombia, apresentou a tese intitulada «A Necessidade da Educação do Povo», e a mesma foi longamente divulgada por meio da revista newyorkina, despertando desta forma grande interesse coletivo; vamo-la resumir o conteudo deveras instrutivo.

* * * * *

Indiscutivelmente o indice da mortandade devido o "CANCRO", é espantoso e a sua causa parece estar ligado a indiferença por parte dos portadores desta ferida, e por consequencia geralmente se tratam de receber os curativos, somente quando são coartadosa procurarem os medicos

É lastimavel tambem sabermos que no ano de 1928, pereceram nada menos de 11.168 pessoas em virtude desta ferida, chegando a atingir 15% da mortandade total de New York.

Não existirá por acaso algum processo de cancroterapia? De verá ser esta a duvida que todos formularão diante deste grande morticinio, mas averiguando os casos da morte, leva-se a concluir due a maioria morreu ou por ignorancia ou por falso preconceito de que o cancro é uma ferida insanavel, por isso mesmo vivem insulados aos conselhos dos medicos, e se dirigem quando o cancro tornará incuravel. Em ultima expressão negligenciaram em receber os curativos adequados em tempo que sentiram as primeiras sintomas.

Como é do conhecimento de todos, o cancro não é uma ferida infecciosa dai surge a imperativa necessidade da educação dos individuos que contrairam esta ferida, afim de aplicar a si mesmo os meios de tratamentos, por estarem muito alem dos cuidados dos departamentos de higiene e da delegacia de policia.

A opinião dos especialistas; o primeiro fator para minorar a mortandade deve ser sem contestação "A INSTRUÇÃO', para este fim foi organizada uma sociedade curativa de cancro em New York em 1913, contudo nada de proveito colheram.

O cancro é sanavel na sua primeira fase, geralmente começa-se a sentir as primeiras sintomas aos 40 anos de idade, e por se-la uma ferida um tanto complexa, convem levar ao conhecimento de especialistas. Em via de regra com a exceção do cancro cutáneo e do aparelho reprodutor feminino, a operação local tem sido aconselhado pelos eximios professores.

A origem do cancro.

O cancro originase geralmente da exitação cronica. Quanto a transformação da ferida simples ao cancro é duvidosa, bem como o aparecimento do cancro provocada pela contusão. O certo é que a contusão pode servir como um fator que favorece o aparecimento do cancro.

Tambem o apodrecimento da raiz dos dentes, e da pessima conservação da boca, pode acarretar a manifestação do cancro, bem como as bebidas quentes e extremamente geladas, estragam sobremodo as paredes do estomago e intistino, assim como a ferida mal sanada após ao parto pode facilitar o aparecimento do cancro.

Factos Historicos Que Mostram Os Serviços Prestados Pela Quinina Aos Exércitos Que Operaram Na Espanha, Abissinia e Na Macedonia

Declarou um médico um dia, que sem o remédio natural que é a quinina não poderia exercer corretamente o seu mister. É sobretudo nas regiões onde grassa o paludismo que todos os médicos dariam incondicionalmente a sua aprovação a essa declaração. A quinina é sempre a base do tratamento do paludismo. Os exércitos em operações numa região impaludica arriscam ter que sofrer uma vergonhosa derrota em duas frentes, primeiro sob as do inimigo, se a experiencia adquirida pelos chefes dos exércitos no que respeita a quinina, não é posta a proveito.

Na obra intitulada" O exército do Oriente libertado do paludismo" os malariologos bem conhecidos Edmundo e Estevão Sargent contam como foram encarregados pelo govêrno francês durante a guerra mundial de libertar do paludismo, o corpo expedicionario francês que operava na Macedonia. Em 1919, 60.000 soldados pertencentes a esse exército foram atacados pelo paludismo, e as baixas causadas pelos parasitas especificos foram superiores ás causadas pelo inimigo. Os irmãos Sergent organisaram um tratamento sistemático das tropas pela quinina e a sua tarefa foi coroada de um êxito resplandecente. Não é de duvidar que sem a quinina os seus esforços teriam sido vãos.

O sr. Aldo Castellani, chefe do serviço oficial militar italiano não esperou que que os soldados do corpo expedicionario mandado para Abissinia se tivessem tornado prêza dos mosquitos do paludismo, mas imediatamente empreendeu o tratamento sistemático de todas as praças pela quinina. Cada uma delas tomava cada dia, por obrigação, comprimidos de quinina. Castellani, como indica no "The Journal of Tropical Medicine and Hygiene", Out. 1936, tinha calculado antes do inicio da expedição, que era de esperar, se não se recorresse ao uso sistemático da quinina, verem-se 400.000 homens atacados pelo sezonismo. Mas graças aquele emprego sistemático da quinina, verificou-se no fim da campanha da Abissinia que se tinha apenas observado um pequeno numero de casos de paludismo, o que não tem precedentes na historia da medicina militar.

Em Espanha, o serviço medico militar prohibiu na primavera de 1938 o uso de medicamentos sintéticos para o tratamento preventivo do paludismo e os depositos farmacêuticos do exercito receberam ordem para unicamente utilisarem a quinina. Essa ordem era baseada nos resultados extremamente favoraveis obtidos com esse produto.

Os relatorios da Comissão de Paludismo da Sociedade das Nações não deixam de confirmar a excelente virtude curativa da quinina. Aquela Comissão de Paludismo considera que ha vantagem em tomar durante a estação das febres, para impedir o paludismo, 400 miligramas de quinina cada dia e para o tratamento propriamente dito recomenda a ministração de 1 grama a 1 grama 30 centigramas de quinina por dia durante 5 a 7 dias. No seu relatorio publicado em 1938, a dita Comissão de Paludismo, a página 129 (edição francesa), acentua que: "A inocuidade da quinina permite a sua ministração pelos empregados subalternos, sem vigilancia médica constante. Esta vigilância é necessária com os produtos sintéticos". Na pagina 130 do mesmo relatorio aquela mesma comissão faz justamente notar que "Entre os medicamentos antipalúdicos, a quinina ocupa ainda o primeiro lugar na prática corrente, em virtude da sua eficácia clínica e da sua toxidade quasi nula, assim como por causa do conhecimento muito espalhado do seu uso e da sua posologia".

Oxalá os factos históricos mais acima citados, bem como a reprodução, dada com, dada com indicação das origens, das opiniões emitidas pela Comissão de Paludismo da Sociedade das Nações, onde tem o seu assento os especialistas mais cotados do paludismo, convençam todos os habitantes das regieõs em que reina essa doença de que o uso da quinina é uma condição essencial do êxito na luta contra o paludismo.

Vaz Dias Agency
Internacional
AMSTERDAM C.
Hollanda

A Nova Lei da Imprensa

De acordo com a nova lei da imprensa, todos os jornaes do Brasil, principalmente dos extrangeiros, deveriam ser reconhecidos e licenciados pelo Ministerio da Justiça, o que todos o cumpriram.

O Nambei Shimpo (Jornal Japonês) obedecendo a esta nova lei, procurou imediato a Associação dos Profissionaes de Imprensa de São Paulo, para receber informações a respeito. Incumbiu ao referido registro, o Advogado Dr. Dario de Barros, 1º Secretario da Associação, recebendo no dia 20 de Outubro, os papeis e alguns numeros do nosso jornal com as respectivas traduções, destinados ao Ministro da Justiça, mas até o presente momento, não temos recebido ordem alguma.

Prezados leitores, dentro em breve ao liquidarmos este caso, e recebermos a respectiva licença, elevaremos o periodico deste jornal para melhores condições.

A Redação.

(+11-2)
FERRO CALCIO-QUINA
TRENTINI
AMARGO DE RUIBARBO
Preferido dos Doentes do Estomago e Figado
CAETANO SPA, SAO PAULO, L. TRENTINI

GYMNASIO ORIENTAL
(Sob. Insp. permanente)
R. Maria Figueiredo. 85
Tel. 7-0867
日本人諸君！
あなた方のお子さんは確實なる本校へ！
●男學生寄宿、男女學生共半寄宿、通學隨意
●一月三日よりアドミッション、受驗者無料教授
●日本語にて教授も無料
(四二)

謹賀新年
川原政衛門
アグードス

村上製菓所
市内コンセレイロ
フルタード一一〇
電話 二一六二六六

謹賀新年
野澤榮一 (賀)(正)
サランヂー

中島和太郎 (賀)(正)
サランヂー

水向綱 (賀)(正)
ジャルヂノポリス

謹賀新年
優良苗木一切
森部果樹園
園主 森部市藏
グワイサラ
電話 一五
郵函 六一

謹賀新年
八ツ田一藤
イガラパーバ

謹賀新年
紀元二千六百年一月一日
日伯情報社
社長 豊吉眞水路
ルア・タバチンゲーラ二三五角ビル二階
電話 二一六四八六 三一四九六一 三一四五三八

謹賀新年
中村物理療院附屬
電氣寫眞館
東洋醫學出身 物理醫學士 皇漢醫 中村榮助
撮影技師 中村壽秀
リンス第二シネマ館前

謹賀新年
馬具、運動具、旅行具一式
角藤靴店
角藤光雄
バストス市

Cooperativa de Bastos
謹賀新年
バストス産業組合

謹賀新年
バストス絹織物工場
上田平吉
バストス市

Casa Tanaka
MINORU TANAKA
C. P. 133 - Bastos - Tel. 9
謹賀新年
内外雜貨
田中穰商店
バストス市
電話 九番
郵函 一一三

Mario Tsujiguti
Representante
Singer Sewing machine Co.
BASTOS
謹賀新年
シンガーミシン會社
バストス代理人
マリオ辻口
バストス市街地

F. SATO
BASTOS—C. Postal, 125
謹賀新年
佐藤福太郎
バストス市
電話 一〇
郵函 一二五

Casa Tagawa
謹賀新年
内外雜貨、食料品
田川商店
田川寺雄
バストス市 郵函三六

Casa Seto
BASTOS—C. P. 284
謹賀新年
内外雜貨
瀬戸商店
バストス市
郵函 二八四